

小坂町まちづくりアンケート調査
一般町民票

集計報告書

小坂町
令和7年6月

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	実施概要	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	3
1	回答者自身のことについて	3
(1)	回答者の属性	3
(2)	家族の属性	5
2	町民の幸福度（幸福感）・地域での暮らしについて	8
(1)	幸福度	8
(2)	幸福度の判断要素	9
(3)	重要な分野	11
(4)	暮らしの不安	14
(5)	町の暮らしやすさ	16
(6)	定住意向	17
(7)	住み続けたい理由	18
(8)	転居したい理由	21
(9)	ふだんの暮らしで感じること（暮らしの評価）	23
3	小坂町の取り組みについて	31
1	生活基盤について	31
2	生活環境について	38
3	産業振興・就労支援について	42
4	保健・医療・福祉について	46
5	教育・文化・スポーツについて	51
6	少子化対策・結婚支援について	53
7	町民参画・行財政運営について	56

4	人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて	59
(1)	人口減少への不安	59
(2)	人口減少社会に対して重要な取り組み	61
(3)	デジタル化に対して重要な取り組み	63
(4)	暮らすまちに重視する要素	65
(5)	Uターン等を促進する支援	67
5	小坂町の地域特性・地域力、これからのまちづくりについて	69
(1)	小坂町の強み	69
(2)	小坂町の弱み	72
6	将来の働き方について	74
(1)	働きたい地域	74
(2)	その地域で働きたい理由	75
(3)	若者が町で働くために必要な要素	76
(4)	就労・雇用の充実のために必要な支援	77

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、総合計画及び総合戦略等の策定にあたり、住民の皆さんの意見等を収集し、計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 実施概要

本調査の対象及び配付、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：町内にお住まいの満 16 歳以上の方
- 抽 出 方 法：調査対象より 1,400 名を無作為抽出
- 調 査 内 容：1. 回答者自身のことについて
2. 町民の幸福度（幸福感）・地域での暮らしについて
3. 小坂町の取り組みについて
4. 人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて
5. 小坂町の地域特性・地域力、これからのまちづくりについて
6. 将来の働き方について
- 調 査 期 間：令和 7 年（2025 年）1～2 月
- 調 査 方 法：郵送配付・回収
- 配付・回収：

配付数	回収数	未回収票数	回収率
1,400 票	444 票	956 票	31.7%

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を 100% として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。
（※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が 100.0% とならない場合があります。）
- 複数回答の設問では、各比率の合計が 100.0% を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「－」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性ごとの回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。（分析の軸とした調査回答者の属性（年齢別、居住地域別など）で n が少ないもの（10 人未満を目安）は、分析の対象から外す場合があります。）
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 集計結果の構成比を割合で表記する際は、下記のとおりとします。

（例）40%台

表記	4 割	4 割強	4 割台半ば	5 割近<	5 割
範囲	40.0～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

Ⅱ 調査結果

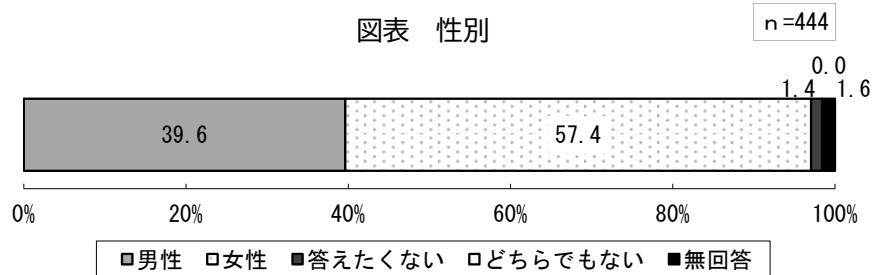
1 回答者自身のことについて

(1) 回答者の属性

問 あなたご自身のことについて記入してください。【各項目、1つに○】

① 性別

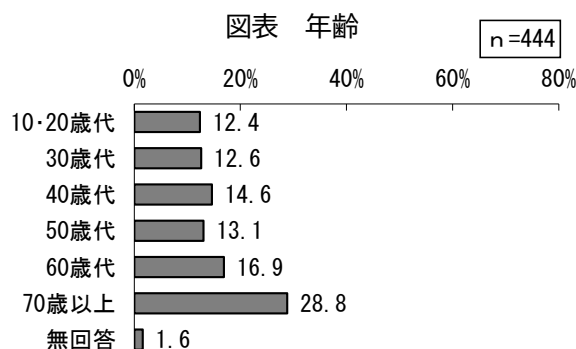
○ 性別について、「男性」が39.6%、「女性」が57.4%、「答えたくない」が1.4%、「どちらでもない」が0.0%となっています。



(n=444)		
	回答数	構成比
1 男性	176	39.6%
2 女性	255	57.4%
3 答えたくない	6	1.4%
4 どちらでもない	0	0.0%
無回答	7	1.6%

② 年齢

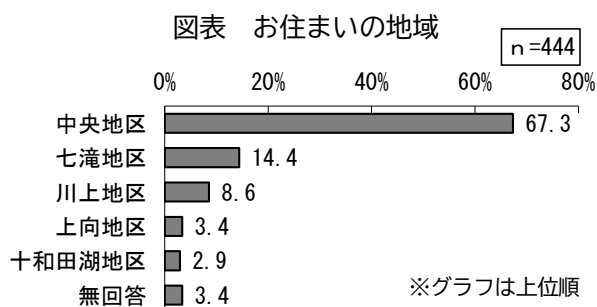
○ 年齢について、「70歳以上」が28.8%と最も高くなっています。次いで「60歳代」が16.9%、「40歳代」が14.6%となっています。



(n=444)		
	回答数	構成比
1 10・20 歳代	55	12.4%
2 30 歳代	56	12.6%
3 40 歳代	65	14.6%
4 50 歳代	58	13.1%
5 60 歳代	75	16.9%
6 70 歳以上	128	28.8%
無回答	7	1.6%

③ お住まいの地域

○ お住まいの地域について、「中央地区」が67.3%と最も高くなっています。次いで「七滝地区」が14.4%、「川上地区」が8.6%となっています。

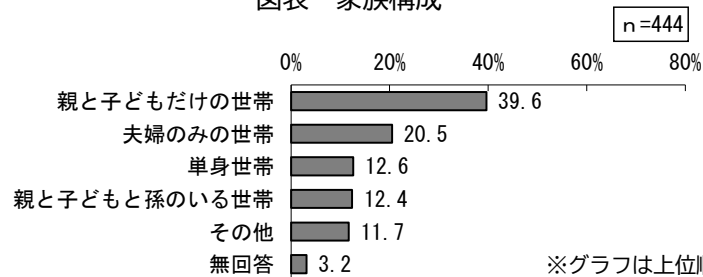


(n=444)		
	回答数	構成比
1 中央地区	299	67.3%
2 川上地区	38	8.6%
3 七滝地区	64	14.4%
4 上向地区	15	3.4%
5 十和田湖地区	13	2.9%
無回答	15	3.4%

④ 家族構成

- 家族構成について、「親と子どもだけの世帯」が 39.6%と最も高くなっています。
次いで「夫婦のみの世帯」が 20.5%、「単身世帯」が 12.6%となっています。

図表 家族構成



※グラフは上位順

(n=444)

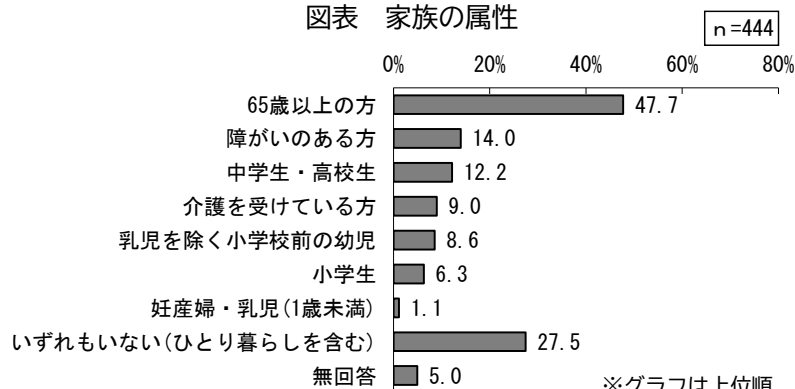
	回答数	構成比
1 単身世帯	56	12.6%
2 夫婦のみの世帯	91	20.5%
3 親と子どもだけの世帯	176	39.6%
4 親と子どもと孫のいる世帯	55	12.4%
5 その他	52	11.7%
無回答	14	3.2%

(2) 家族の属性

問 あなた自身、またはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。
【 あてはまるものすべてに○ 】

- 家族の属性について、「65 歳以上の方」が 47.7%と最も高くなっています。次いで「障がいのある方」が 14.0%、「中学生・高校生」が 12.2%となっています。
- また、「いずれもいない（ひとり暮らしを含む）」が 27.5%となっています。

図表 家族の属性



※グラフは上位順

(n=444)		
	回答数	構成比
1 妊産婦・乳児(1歳未満)	5	1.1%
2 乳児を除く小学校前の幼児	38	8.6%
3 小学生	28	6.3%
4 中学生・高校生	54	12.2%
5 65歳以上の方	212	47.7%
6 介護を受けている方	40	9.0%
7 障がいのある方	62	14.0%
8 いずれもない(ひとり暮らしを含む)	122	27.5%
無回答	22	5.0%

○ 性別・年齢・地区別でみると、30歳代は「乳児を除く小学校前の幼児」が39.3%と最も高くなっています。

図表 家族の属性(性別・年齢・地区別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位	
男性(n=176)	65歳以上の方 47.2%	中学生・高校生 13.6%	障がいのある方 11.9%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 26.7%
女性(n=255)	65歳以上の方 48.6%	障がいのある方 14.9%	中学生・高校生 11.4%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 29.4%
10・20歳代(n=55)	65歳以上の方 40.0%	中学生・高校生 29.1%	障がいのある方 16.4%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 23.6%
30歳代(n=56)	乳児を除く小学校前の幼児 39.3%	小学生・65歳以上の方 17.9%(同率)		いずれもない(ひとり暮らしを含む) 28.6%
40歳代(n=65)	65歳以上の方 52.3%	中学生・高校生 30.8%	障がいのある方 18.5%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 13.8%
50歳代(n=58)	65歳以上の方 51.7%	介護を受けている方 12.1%	中学生・高校生・障がいのある方 10.3%(同率)	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 39.7%
60歳代(n=75)	65歳以上の方 46.7%	障がいのある方 13.3%	介護を受けている方 9.3%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 40.0%
70歳以上(n=128)	65歳以上の方 62.5%	介護を受けている方・障がいのある方 14.1%(同率)		いずれもない(ひとり暮らしを含む) 23.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	
中央地区(n=299)	65 歳以上の方 43.5%	障がいのある方 14.0%	中学生・高校生 9.7%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 32.1%
川上地区(n=38)	65 歳以上の方 60.5%	中学生・高校生 23.7%	介護を受けている方・障がいのある方 21.1% (同率)	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 13.2%
七滝地区(n=64)	65 歳以上の方 60.9%	中学生・高校生 17.2%	介護を受けている方 12.5%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 18.8%
上向地区(n=15)	65 歳以上の方 73.3%	障がいのある方 33.3%	乳児を除く小学校前の幼児 20.0%	いずれもない(ひとり暮らしを含む) 0.0%
十和田湖地区(n=13)	65 歳以上の方 53.8%	中学生・高校生・障がいのある方 15.4% (同率)		いずれもない(ひとり暮らしを含む) 30.8%

2 町民の幸福度（幸福感）・地域での暮らしについて

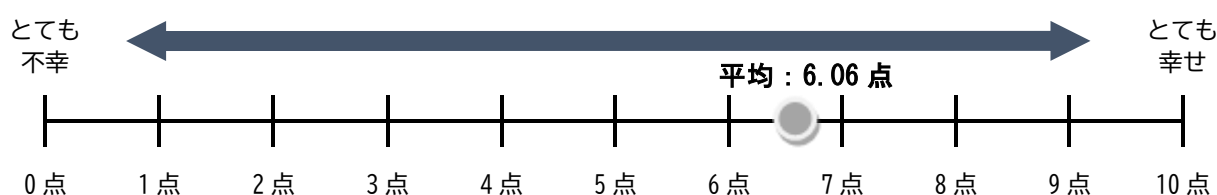
（１）幸福度

問 現在、あなたはどの程度幸せと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。【1つに○】

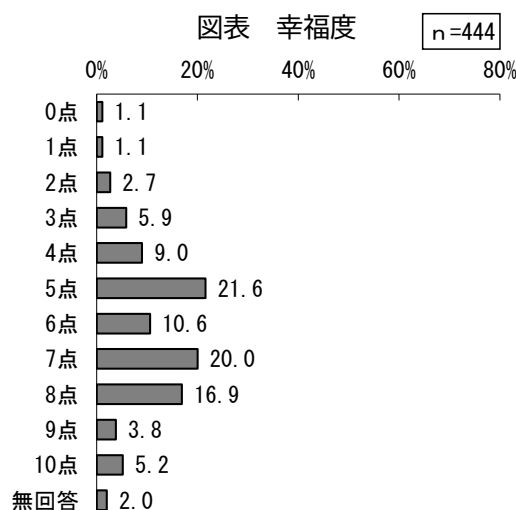
○ 幸福度について、平均は6.06点となっています。

○ なお点数帯別でみると、「5点」が21.6%と最も高くなっています。次いで「7点」が20.0%、「8点」が16.9%となっています。

図表 幸福度（10段階）



図表 幸福度



(n=444)

	回答数	構成比
1 0点	5	1.1%
2 1点	5	1.1%
3 2点	12	2.7%
4 3点	26	5.9%
5 4点	40	9.0%
6 5点	96	21.6%
7 6点	47	10.6%
8 7点	89	20.0%
9 8点	75	16.9%
10 9点	17	3.8%
11 10点	23	5.2%
無回答	9	2.0%

- 年齢別でみると、70 歳以上は幸福度の平均値が 6.39 と、他年代と比較し高くなっています。

図表 幸福度（性別・年齢別・地区別：平均値）

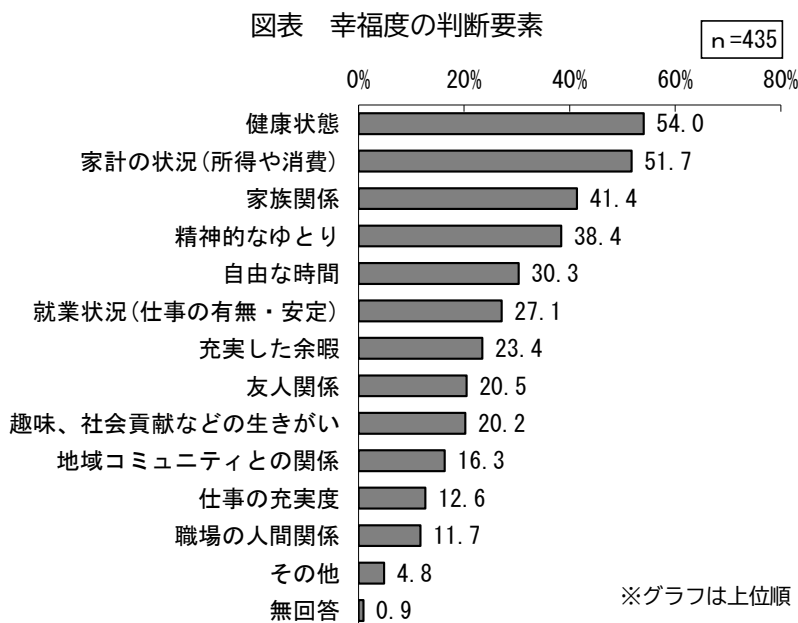
	平均値		平均値
男性(n=176)	5.99	中央地区(n=299)	6.07
女性(n=255)	6.18	川上地区(n=38)	5.95
10・20 歳代(n=55)	6.18	七滝地区(n=64)	6.23
30 歳代(n=56)	5.98	上向地区(n=15)	5.80
40 歳代(n=65)	5.33	十和田湖地区(n=13)	6.46
50 歳代(n=58)	6.21		
60 歳代(n=75)	5.96		
70 歳以上(n=128)	6.39		

（２）幸福度の判断要素

問 前問（１）の幸福度（０～１０点）を判断する際に、重視したことは何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

【（１）に回答した方のみ回答】

- 幸福度の幸福度の判断要素について、「健康状態」が 54.0%と最も高くなっています。次いで「家計の状況(所得や消費)」が 51.7%、「家族関係」が 41.4%となっています。



(n=435)		
	回答数	構成比
1 家計の状況(所得や消費)	225	51.7%
2 就業状況(仕事の有無・安定)	118	27.1%
3 健康状態	235	54.0%
4 自由な時間	132	30.3%
5 充実した余暇	102	23.4%
6 仕事の充実度	55	12.6%
7 精神的なゆとり	167	38.4%
8 趣味、社会貢献などの生きがい	88	20.2%
9 家族関係	180	41.4%
10 友人関係	89	20.5%
11 職場の人間関係	51	11.7%
12 地域コミュニティとの関係	71	16.3%
13 その他	21	4.8%
無回答	4	0.9%

○ 性別でみると、男性は「健康状態」が52.3%、女性は「家計の状況(所得や消費)」が55.6%とそれぞれ最も高くなっています。

図表 幸福度の判断要素(性別・年齢・地区別：上位3項目)

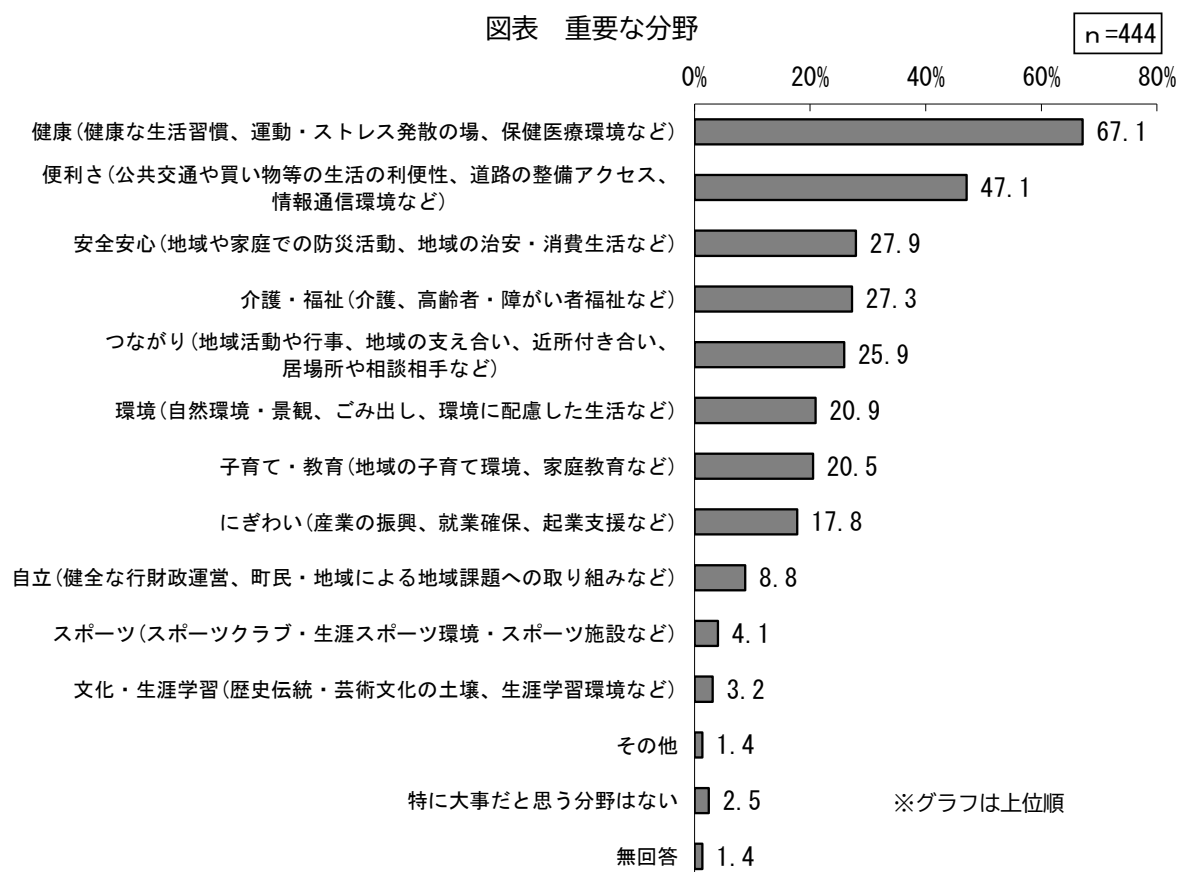
	第1位	第2位	第3位
男性(n=174)	健康状態 52.3%	家計の状況(所得や消費) 47.7%	家族関係 39.1%
女性(n=250)	家計の状況(所得や消費) 55.6%	健康状態 55.2%	家族関係 44.0%
10・20歳代(n=55)	家計の状況(所得や消費) 40.0%	家族関係 36.4%	精神的なゆとり 34.5%
30歳代(n=56)	家計の状況(所得や消費) 53.6%	健康状態・精神的なゆとり 48.2% (同率)	
40歳代(n=63)	家計の状況(所得や消費) 55.6%	家族関係 47.6%	就業状況(仕事の有無・安定) 39.7%
50歳代(n=57)	家計の状況(所得や消費) 57.9%	健康状態 54.4%	就業状況(仕事の有無・安定)・ 家族関係 50.9% (同率)
60歳代(n=75)	健康状態 68.0%	家計の状況(所得や消費) 56.0%	家族関係 49.3%
70歳以上(n=125)	健康状態 68.0%	家計の状況(所得や消費) 48.8%	精神的なゆとり 35.2%

	第1位	第2位	第3位
中央地区(n=295)	家計の状況(所得や消費)・健康状態 54.2% (同率)		精神的なゆとり 41.7%
川上地区(n=37)	家計の状況(所得や消費)・家族関係 45.9% (同率)		健康状態 43.2%
七滝地区(n=62)	健康状態 61.3%	家計の状況(所得や消費) 50.0%	家族関係 41.9%
上向地区(n=15)	健康状態 73.3%	家族関係 66.7%	精神的なゆとり 60.0%
十和田湖地区 (n=13)	健康状態 53.8%	家計の状況(所得や消費) 38.5%	精神的なゆとり・ 地域コミュニティとの関係 30.8% (同率)

(3) 重要な分野

問 次の分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」をどれですか。
【3つまでに○】

- 重要な分野について、「健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など)」が67.1%と最も高くなっています。次いで「便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備アクセス、情報通信環境など)」が47.1%、「安全安心(地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など)」が27.9%となっています。



(n=444)		
	回答数	構成比
1 健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など)	298	67.1%
2 子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など)	91	20.5%
3 環境(自然環境・景観、ごみ出し、環境に配慮した生活など)	93	20.9%
4 つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など)	115	25.9%
5 安全安心(地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など)	124	27.9%
6 便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備アクセス、情報通信環境など)	209	47.1%
7 にぎわい(産業の振興、就業確保、起業支援など)	79	17.8%
8 介護・福祉(介護、高齢者・障がい者福祉など)	121	27.3%
9 文化・生涯学習(歴史伝統・芸術文化の土壌、生涯学習環境など)	14	3.2%
10 スポーツ(スポーツクラブ・生涯スポーツ環境・スポーツ施設など)	18	4.1%
11 自立(健全な行財政運営、町民・地域による地域課題への取り組みなど)	39	8.8%
12 その他	6	1.4%
13 特に大事だと思う分野はない	11	2.5%
無回答	6	1.4%

○ 年齢別でみると、10・20歳代は「便利さ」が50.9%と最も高くなっています。

図表 重要な分野（性別・年齢・地区別：上位3項目）

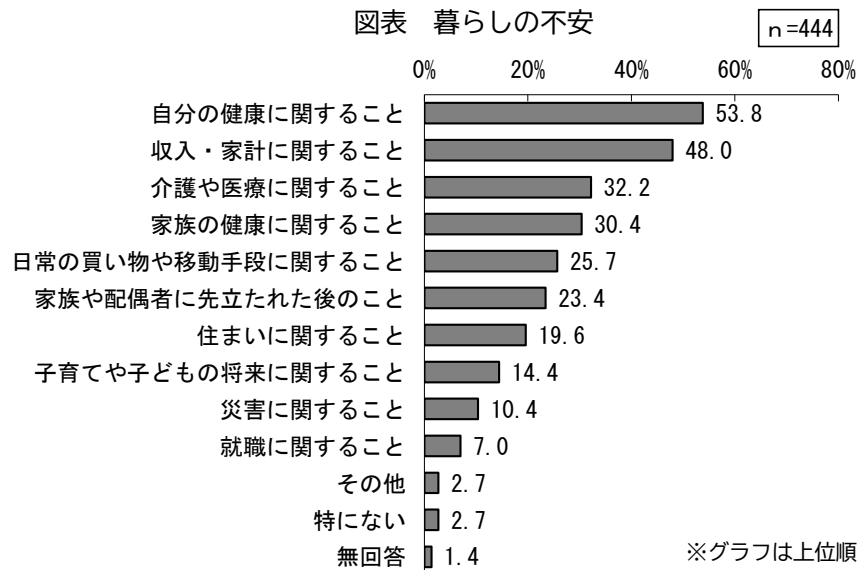
	第1位	第2位	第3位
男性(n=176)	健康 66.5%	便利さ 39.2%	安全安心 29.5%
女性(n=255)	健康 69.0%	便利さ 52.9%	つながり 28.6%
10・20歳代(n=55)	便利さ 50.9%	健康 41.8%	子育て・教育・安全安心・ にぎわい 25.5%（同率）
30歳代(n=56)	健康 57.1%	子育て・教育 55.4%	便利さ 41.1%
40歳代(n=65)	健康 61.5%	便利さ 58.5%	子育て・教育 36.9%
50歳代(n=58)	健康 70.7%	便利さ 60.3%	安全安心 39.7%
60歳代(n=75)	健康 70.7%	便利さ 48.0%	介護・福祉 32.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳以上(n=128)	健康 83.6%	介護・福祉 42.2%	つながり 39.8%
中央地区(n=299)	健康 68.2%	便利さ 47.8%	安全安心 29.4%
川上地区(n=38)	健康 65.8%	便利さ 44.7%	介護・福祉 39.5%
七滝地区(n=64)	健康 76.6%	便利さ 46.9%	安全安心 28.1%
上向地区(n=15)	便利さ 46.7%	健康 40.0%	環境 33.3%
十和田湖地区 (n=13)	健康 61.5%	安全安心・便利さ 46.2% (同率)	

(4) 暮らしの不安

問 あなたは、将来の暮らしについて、どのようなことに悩みや不安を感じますか。
【3つまでに○】

○ 暮らしの不安について、「自分の健康に関すること」が53.8%と最も高くなっています。次いで「収入・家計に関すること」が48.0%、「介護や医療に関すること」が32.2%となっています。



(n=444)		
	回答数	構成比
1 自分の健康に関すること	239	53.8%
2 家族の健康に関すること	135	30.4%
3 収入・家計に関すること	213	48.0%
4 就職に関すること	31	7.0%
5 住まいに関すること	87	19.6%
6 介護や医療に関すること	143	32.2%
7 子育てや子どもの将来に関すること	64	14.4%
8 家族や配偶者に先立たれた後のこと	104	23.4%
9 災害に関すること	46	10.4%
10 日常の買い物や移動手段に関すること	114	25.7%
11 その他	12	2.7%
12 特にない	12	2.7%
無回答	6	1.4%

- 年齢別でみると、40 歳代以下は「収入・家計に関すること」が最も高く、また 50 歳代以上は「自分の健康に関すること」が最も高くなっています。

図表 暮らしの不安（性別・年齢・地区別：上位 3 項目）

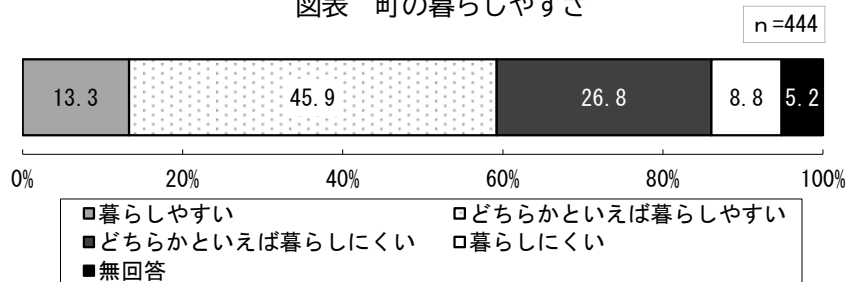
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性(n=176)	自分の健康に関すること 58.5%	収入・家計に関すること 46.0%	家族の健康に関すること 34.1%
女性(n=255)	自分の健康に関すること 50.2%	収入・家計に関すること 49.8%	介護や医療に関すること 32.5%
10・20 歳代(n=55)	収入・家計に関すること 61.8%	自分の健康に関すること 34.5%	就職に関すること・家族や配偶者に先立たれた後のこと・日常の買い物や移動手段に関すること 21.8%（同率）
30 歳代(n=56)	収入・家計に関すること 67.9%	子育てや子どもの将来に関すること 48.2%	住まいに関すること 33.9%
40 歳代(n=65)	収入・家計に関すること 60.0%	自分の健康に関すること 41.5%	家族の健康に関すること 36.9%
50 歳代(n=58)	自分の健康に関すること 51.7%	収入・家計に関すること 48.3%	家族の健康に関すること 41.4%
60 歳代(n=75)	自分の健康に関すること 56.0%	収入・家計に関すること 42.7%	介護や医療に関すること 41.3%
70 歳以上(n=128)	自分の健康に関すること 78.9%	介護や医療に関すること 42.2%	家族の健康に関すること 35.2%
中央地区(n=299)	自分の健康に関すること 56.2%	収入・家計に関すること 49.2%	介護や医療に関すること 33.4%
川上地区(n=38)	自分の健康に関すること・家族の健康に関すること 42.1%（同率）		家族や配偶者に先立たれた後のこと 39.5%
七滝地区(n=64)	自分の健康に関すること 62.5%	収入・家計に関すること 46.9%	介護や医療に関すること・家族や配偶者に先立たれた後のこと 32.8%（同率）
上向地区(n=15)	収入・家計に関すること 66.7%	介護や医療に関すること・災害に関すること 33.3%（同率）	
十和田湖地区(n=13)	自分の健康に関すること 53.8%	家族の健康に関すること・収入・家計に関すること 46.2%（同率）	

(5) 町の暮らしやすさ

問 現在の生活環境を総合的にみて、あなたは、小坂町が暮らしやすいまちであると思いますか。理由もあわせてお聞かせください。【1つに○ 理由を記入】

○ 町の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」(13.3%)、「どちらかといえば暮らしやすい」(45.9%)を合わせた6割(59.2%)の方は“暮らしやすい※”と感じている一方で、「どちらかといえば暮らしにくい」(26.8%)、「暮らしにくい」(8.8%)を合わせた3割台半ば(35.6%)の方は“暮らしにくい※”と感じています。

図表 町の暮らしやすさ



(n=444)

	回答数	構成比
1 暮らしやすい	59	13.3%
2 どちらかといえば暮らしやすい	204	45.9%
3 どちらかといえば暮らしにくい	119	26.8%
4 暮らしにくい	39	8.8%
無回答	23	5.2%

※ “暮らしやすい”：「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した方

※ “暮らしにくい”：「どちらかといえば暮らしにくい」、「暮らしにくい」と回答した方

○ 年齢別でみると、40歳代は“暮らしやすい”が46.2%と、他年代と比較し割合が低くなっています。

○ また地区別でみると、十和田湖地区は“暮らしやすい”が46.2%と、他地区と比較し割合が低くなっています。

図表 町の暮らしやすさ（性別・年齢別・地区別）

	“暮らしやすい”		“暮らしにくい”		無回答
	暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	
男性(n=176)	11.9%	50.6%	25.0%	9.7%	2.8%
女性(n=255)	14.9%	43.1%	27.5%	7.8%	6.7%
10・20歳代(n=55)	20.0%	32.7%	32.7%	14.5%	0.0%
30歳代(n=56)	10.7%	44.6%	37.5%	3.6%	3.6%
40歳代(n=65)	7.7%	38.5%	40.0%	12.3%	1.5%
50歳代(n=58)	19.0%	46.6%	17.2%	10.3%	6.9%

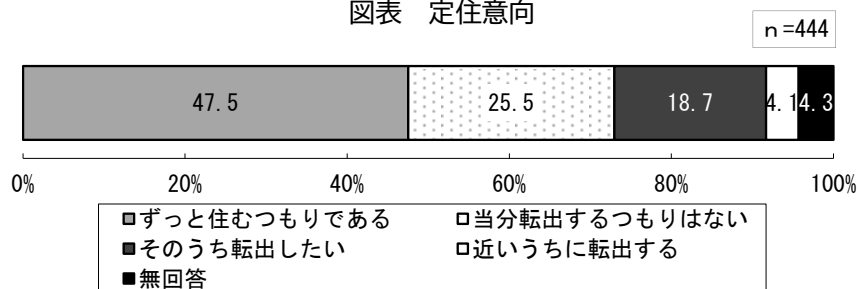
60 歳代(n=75)	4.0%	56.0%	24.0%	10.7%	5.3%
70 歳以上(n=128)	18.0%	51.6%	18.0%	4.7%	7.8%
中央地区(n=299)	15.4%	45.2%	25.8%	9.7%	4.0%
川上地区(n=38)	13.2%	50.0%	28.9%	2.6%	5.3%
七滝地区(n=64)	7.8%	43.8%	26.6%	9.4%	12.5%
上向地区(n=15)	0.0%	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%
十和田湖地区(n=13)	7.7%	38.5%	46.2%	7.7%	0.0%

(6) 定住意向

問 あなたは、小坂町にこれからも住んでいたいと思いますか。【1つに○】

○ 定住意向について、「ずっと住むつもりである」(47.5%)、「当分転居するつもりはない」(25.5%)を合わせた7割強(73.0%)の方は“定住意向あり※”と回答している一方で、「そのうち転出したい」(18.7%)、「近いうちに転出する」(4.1%)を合わせた2割強(22.8%)の方は“定住意向なし※”と回答しています。

図表 定住意向



(n=444)

	回答数	構成比
1 ずっと住むつもりである	211	47.5%
2 当分転出するつもりはない	113	25.5%
3 そのうち転出したい	83	18.7%
4 近いうちに転出する	18	4.1%
無回答	19	4.3%

※ “定住意向あり”：「ずっと住むつもりである」、「当分転居するつもりはない」と回答した方

※ “定住意向なし”：「そのうち転居したい」、「近いうちに転居する」と回答した方

○ 年齢別でみると、“定住意向あり”と回答した 10・20 歳代は 45.5%、70 歳以上は 84.4%と、年齢を重ねるごとに割合が高くなる傾向がみられます。

図表 定住意向（性別・年齢別・地区別）

	“定住意向あり”		“定住意向なし”		無回答
	ずっと住むつもりである	当分転出するつもりはない	そのうち転出したい	近いうちに転出する	
男性(n=176)	55.1%	22.7%	16.5%	4.0%	1.7%
女性(n=255)	43.1%	27.8%	19.6%	4.3%	5.1%
10・20 歳代(n=55)	12.7%	32.7%	30.9%	21.8%	1.8%
30 歳代(n=56)	33.9%	41.1%	21.4%	1.8%	1.8%
40 歳代(n=65)	41.5%	29.2%	23.1%	3.1%	3.1%
50 歳代(n=58)	44.8%	22.4%	25.9%	1.7%	5.2%
60 歳代(n=75)	56.0%	25.3%	16.0%	1.3%	1.3%
70 歳以上(n=128)	68.0%	16.4%	7.8%	0.0%	7.8%
中央地区(n=299)	45.5%	27.1%	19.1%	4.0%	4.3%
川上地区(n=38)	60.5%	18.4%	18.4%	0.0%	2.6%
七滝地区(n=64)	53.1%	18.8%	14.1%	7.8%	6.3%
上向地区(n=15)	53.3%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%
十和田湖地区(n=13)	46.2%	23.1%	30.8%	0.0%	0.0%

（７）住み続けたい理由

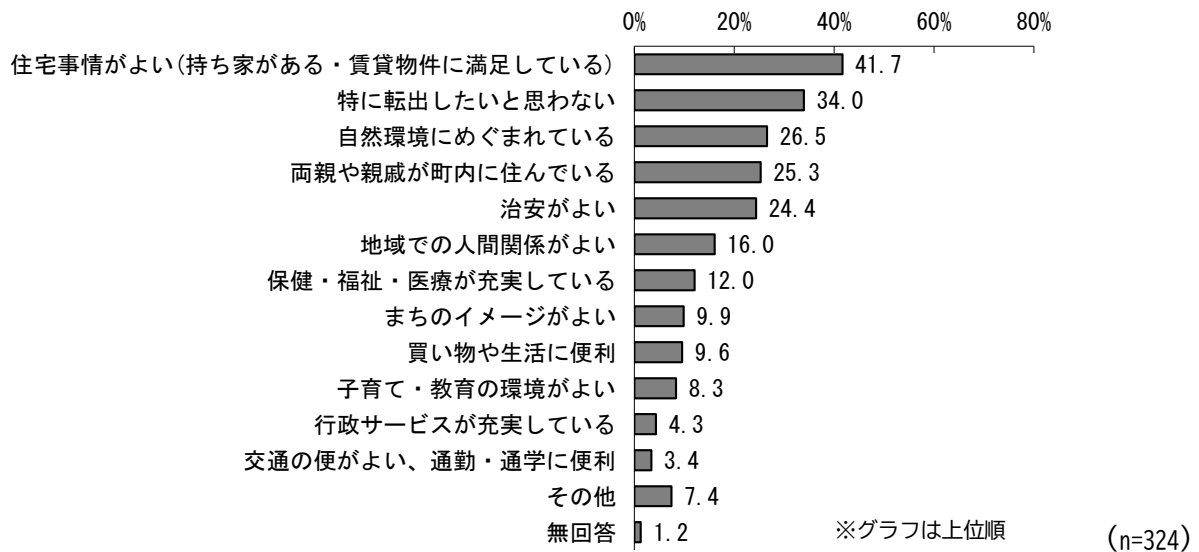
問 住み続けたい理由は何ですか。【 3 つまでに○ 】

【(6) で「1」「2」を選択した方のみ回答】

○ 住み続けたい理由について、「住宅事情がよい(持ち家がある・賃貸物件に満足している)」が 41.7%と最も高くなっています。次いで「特に転出したいと思わない」が 34.0%、「自然環境にめぐまれている」が 26.5%となっています。

図表 住み続けたい理由

n=324



	回答数	構成比
1 自然環境にめぐまれている	86	26.5%
2 地域での人間関係がよい	52	16.0%
3 買い物や生活に便利	31	9.6%
4 交通の便がよい、通勤・通学に便利	11	3.4%
5 子育て・教育の環境がよい	27	8.3%
6 保健・福祉・医療が充実している	39	12.0%
7 行政サービスが充実している	14	4.3%
8 住宅事情がよい(持ち家がある・賃貸物件に満足している)	135	41.7%
9 治安がよい	79	24.4%
10 まちのイメージがよい	32	9.9%
11 両親や親戚が町内に住んでいる	82	25.3%
12 特に転出したいと思わない	110	34.0%
13 その他	24	7.4%
無回答	4	1.2%

○ 性別・年齢・地区別で最上位の項目をみると、「住宅事情がよい」、「自然環境にめぐまれている」、「両親や親戚が町内に住んでいる」など、属性によって住み続けたい理由は多岐にわたります。

図表 住み続けたい理由（性別・年齢・地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性(n=137)	住宅事情がよい 42.3%	特に転出したいと思わない 34.3%	自然環境にめぐまれている 28.5%
女性(n=181)	住宅事情がよい 41.4%	特に転出したいと思わない 33.7%	治安がよい 26.0%

	第1位	第2位	第3位
10・20歳代(n=25)	両親や親戚が町内に住んでいる 48.0%	自然環境にめぐまれている・治安がよい・特に転出したいと思わない 24.0% (同率)	
30歳代(n=42)	住宅事情がよい・両親や親戚が町内に住んでいる 38.1% (同率)		自然環境にめぐまれている・子育て・教育の環境がよい 28.6%
40歳代(n=46)	住宅事情がよい 41.3%	両親や親戚が町内に住んでいる 32.6%	特に転出したいと思わない 23.9%
50歳代(n=39)	住宅事情がよい 38.5%	治安がよい 33.3%	両親や親戚が町内に住んでいる 30.8%
60歳代(n=61)	特に転出したいと思わない 50.8%	住宅事情がよい 45.9%	自然環境にめぐまれている 26.2%
70歳以上(n=108)	住宅事情がよい 46.3%	特に転出したいと思わない 41.7%	自然環境にめぐまれている 35.2%
中央地区(n=217)	住宅事情がよい 42.4%	特に転出したいと思わない 32.3%	両親や親戚が町内に住んでいる 24.9%
川上地区(n=30)	自然環境にめぐまれている 43.3%	治安がよい 33.3%	両親や親戚が町内に住んでいる 30.0%
七滝地区(n=46)	住宅事情がよい 58.7%	特に転出したいと思わない 43.5%	治安がよい・両親や親戚が町内に住んでいる 21.7% (同率)
上向地区(n=13)	自然環境にめぐまれている 53.8%	両親や親戚が町内に住んでいる・特に転出したいと思わない 46.2% (同率)	
十和田湖地区(n=9)	自然環境にめぐまれている 66.7%	住宅事情がよい 44.4%	地域での人間関係がよい・特に転出したいと思わない 22.2% (同率)

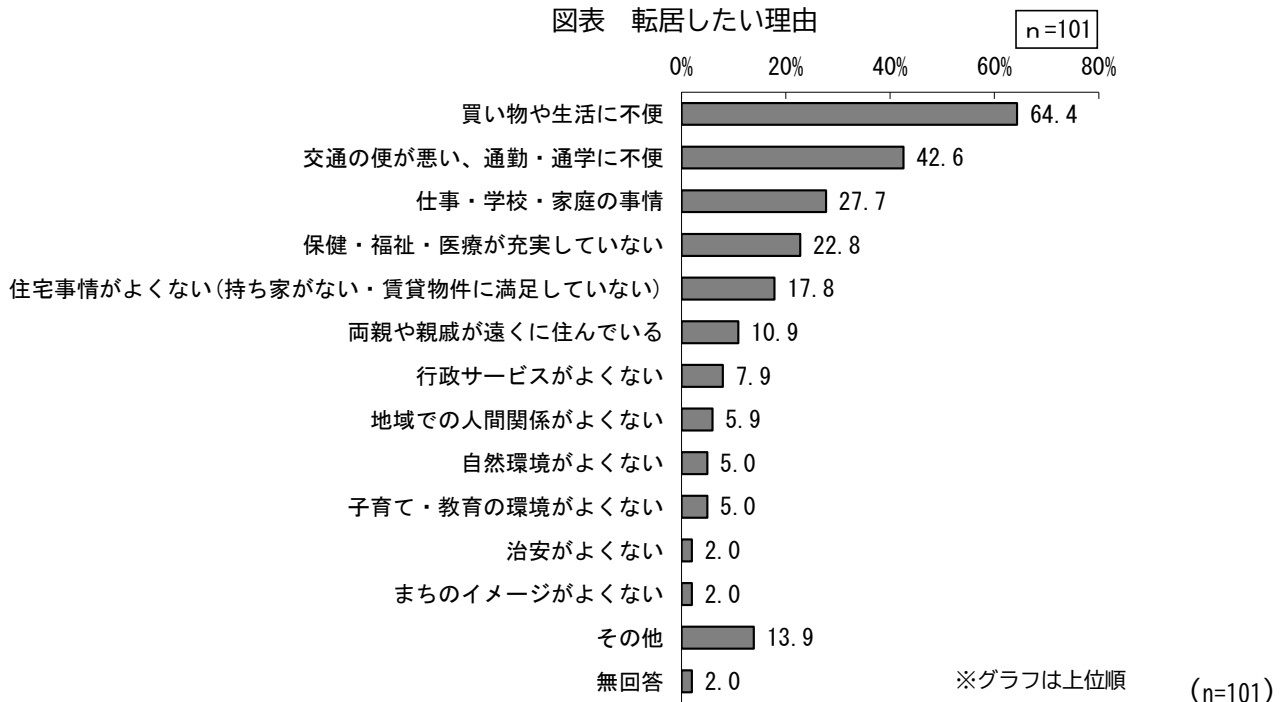
(8) 転居したい理由

問 転居したい理由は何ですか。【 3 つまでに○ 】

【(6) で「3」「4」を選択した方のみ回答】

○ 転居したい理由について、「買い物や生活に不便」が64.4%と最も高くなっています。次いで「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」が42.6%、「仕事・学校・家庭の事情」が27.7%となっています。

図表 転居したい理由



	回答数	構成比
1 自然環境がよくない	5	5.0%
2 地域での人間関係がよくない	6	5.9%
3 買い物や生活に不便	65	64.4%
4 交通の便が悪い、通勤・通学に不便	43	42.6%
5 子育て・教育の環境がよくない	5	5.0%
6 保健・福祉・医療が充実していない	23	22.8%
7 行政サービスがよくない	8	7.9%
8 住宅事情がよくない(持ち家がない・賃貸物件に満足していない)	18	17.8%
9 治安がよくない	2	2.0%
10 まちのイメージがよくない	2	2.0%
11 両親や親戚が遠くに住んでいる	11	10.9%
12 仕事・学校・家庭の事情	28	27.7%
13 その他	14	13.9%
無回答	2	2.0%

○ 性別・年齢・地区別でみると、各属性とも「買い物や生活に不便」が最も高くなっています。

図表 転居したい理由（性別・年齢・地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性(n=36)	買い物や生活に不便 77.8%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 44.4%	保健・福祉・医療が充実していない 27.8%
女性(n=61)	買い物や生活に不便 55.7%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 39.3%	仕事・学校・家庭の事情 32.8%
10・20歳代(n=29)	買い物や生活に不便 58.6%	仕事・学校・家庭の事情 44.8%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 34.5%
30歳代(n=13)	買い物や生活に不便・仕事・学校・家庭の事情 53.8%（同率）		交通の便が悪い、通勤・通学に不便 38.5%
40歳代(n=17)	買い物や生活に不便 76.5%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 52.9%	保健・福祉・医療が充実していない 41.2%
50歳代(n=16)	買い物や生活に不便 43.8%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 37.5%	保健・福祉・医療が充実していない・両親や親戚が遠くに住んでいる 31.3%（同率）
60歳代(n=13)	買い物や生活に不便 84.6%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便・保健・福祉・医療が充実していない 46.2%（同率）	
70歳以上(n=10)	買い物や生活に不便 90.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 60.0%	地域での人間関係がよくない・保健・福祉・医療が充実していない・治安がよくない 20.0%（同率）
中央地区(n=69)	買い物や生活に不便 60.9%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 43.5%	仕事・学校・家庭の事情 30.4%
川上地区(n=7)	買い物や生活に不便 100.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 42.9%	保健・福祉・医療が充実していない 28.6%
七滝地区(n=14)	買い物や生活に不便 50.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 28.6%	仕事・学校・家庭の事情 28.6%
上向地区(n=2)	買い物や生活に不便・交通の便が悪い、通勤・通学に不便 100.0%（同率）		自然環境がよくない・保健・福祉・医療が充実していない・行政サービスがよくない・住宅事情がよくない 50.0%（同率）
十和田湖地区(n=4)	買い物や生活に不便 100.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 50.0%	保健・福祉・医療が充実していない・住宅事情がよくない・治安がよくない 25.0%（同率）

(9) ふだんの暮らしで感じること（暮らしの評価）

問 次の各項目について、あなたが町に住んでいて、ふだん感じていることを、次の各項目においてどの程度あてはまるかをお聞かせください。

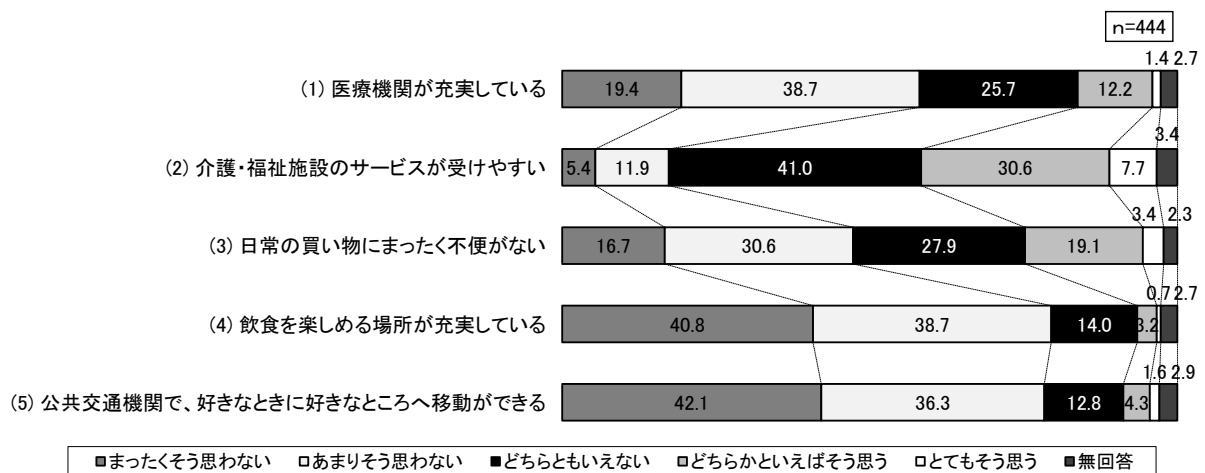
【それぞれの項目であてはまるもの1つに○】

◎ 医療・福祉・交通等の評価

○ 医療・福祉・交通等の評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(4) 飲食を楽しめる場所が充実している」が79.5%と最も高くなっています。

○ 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(2) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい」が38.3%と最も高くなっています。

図表 医療・福祉・交通等の評価



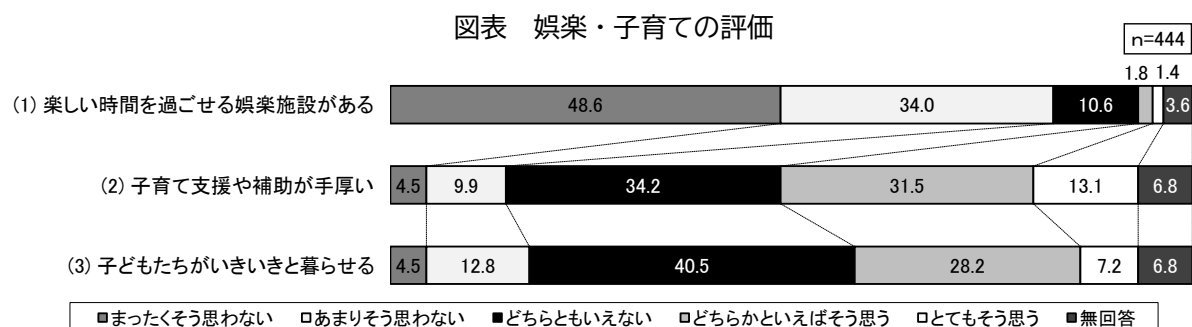
		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 医療機関が充実している	1 まったくそう思わない	86	19.4%
	2 あまりそう思わない	172	38.7%
	3 どちらともいえない	114	25.7%
	4 どちらかといえばそう思う	54	12.2%
	5 とてもそう思う	6	1.4%
	無回答	12	2.7%
(2) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	1 まったくそう思わない	24	5.4%
	2 あまりそう思わない	53	11.9%
	3 どちらともいえない	182	41.0%
	4 どちらかといえばそう思う	136	30.6%
	5 とてもそう思う	34	7.7%
	無回答	15	3.4%

		回答数	構成比
(3) 日常の買い物にまったく不便がない	1 まったくそう思わない	74	16.7%
	2 あまりそう思わない	136	30.6%
	3 どちらともいえない	124	27.9%
	4 どちらかといえばそう思う	85	19.1%
	5 とてもそう思う	15	3.4%
	無回答	10	2.3%
(4) 飲食を楽しめる場所が充実している	1 まったくそう思わない	181	40.8%
	2 あまりそう思わない	172	38.7%
	3 どちらともいえない	62	14.0%
	4 どちらかといえばそう思う	14	3.2%
	5 とてもそう思う	3	0.7%
	無回答	12	2.7%
(5) 公共交通機関で、好きなときに好きなところへ移動ができる	1 まったくそう思わない	187	42.1%
	2 あまりそう思わない	161	36.3%
	3 どちらともいえない	57	12.8%
	4 どちらかといえばそう思う	19	4.3%
	5 とてもそう思う	7	1.6%
	無回答	13	2.9%

◎ 娯楽・子育ての評価

○ 娯楽・子育ての評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(1) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」が82.6%と最も高くなっています。

○ 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(2) 子育て支援や補助が手厚い」が44.6%と最も高くなっています。



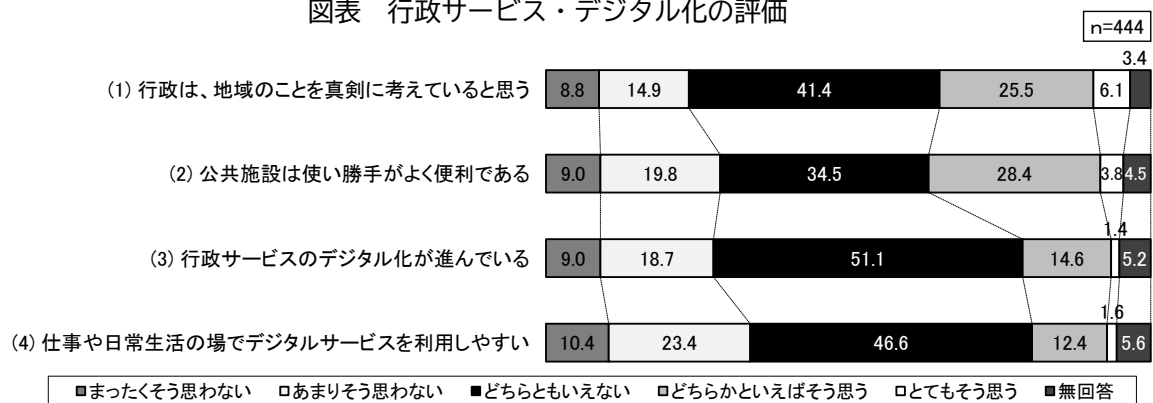
		回答数	構成比
(1) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	1 まったくそう思わない	216	48.6%
	2 あまりそう思わない	151	34.0%
	3 どちらともいえない	47	10.6%
	4 どちらかといえばそう思う	8	1.8%
	5 とてもそう思う	6	1.4%
	無回答	16	3.6%

		回答数	構成比
(2) 子育て支援や補助が手厚い	1 まったくそう思わない	20	4.5%
	2 あまりそう思わない	44	9.9%
	3 どちらともいえない	152	34.2%
	4 どちらかといえばそう思う	140	31.5%
	5 とてもそう思う	58	13.1%
	無回答	30	6.8%
(3) 子どもたちがいきいきと暮らせる	1 まったくそう思わない	20	4.5%
	2 あまりそう思わない	57	12.8%
	3 どちらともいえない	180	40.5%
	4 どちらかといえばそう思う	125	28.2%
	5 とてもそう思う	32	7.2%
	無回答	30	6.8%

◎ 行政サービス・デジタル化の評価

- 行政サービス・デジタル化の評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(4) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい」が33.8%と最も高くなっています。
- 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(2) 公共施設は使い勝手がよく便利である」が32.2%と最も高くなっています。

図表 行政サービス・デジタル化の評価



(n=444)

		回答数	構成比
(1) 行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	1 まったくそう思わない	39	8.8%
	2 あまりそう思わない	66	14.9%
	3 どちらともいえない	184	41.4%
	4 どちらかといえばそう思う	113	25.5%
	5 とてもそう思う	27	6.1%
	無回答	15	3.4%

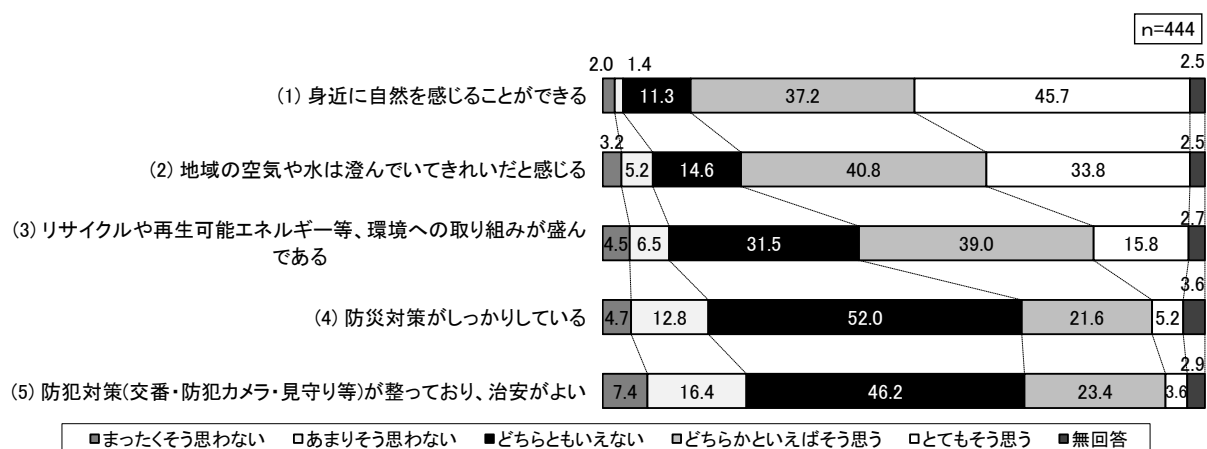
		回答数	構成比
(2) 公共施設は使い勝手がよく便利である	1 まったくそう思わない	40	9.0%
	2 あまりそう思わない	88	19.8%
	3 どちらともいえない	153	34.5%
	4 どちらかといえばそう思う	126	28.4%
	5 とてもそう思う	17	3.8%
	無回答	20	4.5%
(3) 行政サービスのデジタル化が進んでいる	1 まったくそう思わない	40	9.0%
	2 あまりそう思わない	83	18.7%
	3 どちらともいえない	227	51.1%
	4 どちらかといえばそう思う	65	14.6%
	5 とてもそう思う	6	1.4%
	無回答	23	5.2%
(4) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	1 まったくそう思わない	46	10.4%
	2 あまりそう思わない	104	23.4%
	3 どちらともいえない	207	46.6%
	4 どちらかといえばそう思う	55	12.4%
	5 とてもそう思う	7	1.6%
	無回答	25	5.6%

◎ 住環境・防災・防犯の評価

○ 住環境・防災・防犯の評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(5) 防犯対策（交番・防犯カメラ・見守り等）が整っており、治安がよい」が23.8%と最も高くなっています。

○ 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(1) 身近に自然を感じることができる」が82.9%と最も高くなっています。

図表 住環境・防災・防犯の評価

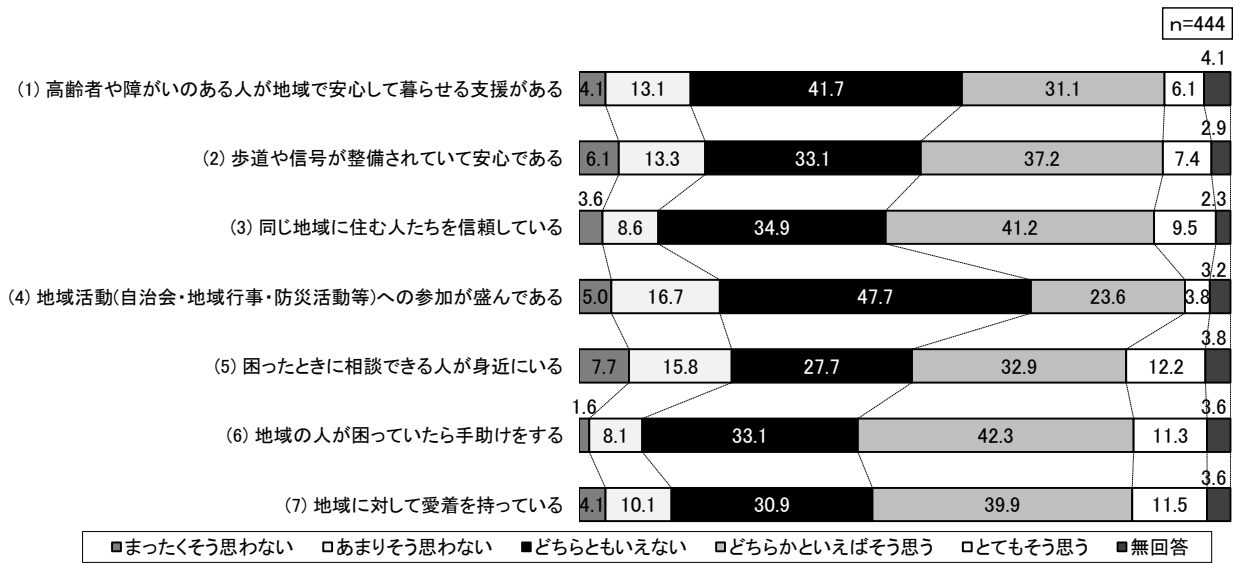


		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 身近に自然を感じることができる	1 まったくそう思わない	9	2.0%
	2 あまりそう思わない	6	1.4%
	3 どちらともいえない	50	11.3%
	4 どちらかといえばそう思う	165	37.2%
	5 とてもそう思う	203	45.7%
	無回答	11	2.5%
(2) 地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	1 まったくそう思わない	14	3.2%
	2 あまりそう思わない	23	5.2%
	3 どちらともいえない	65	14.6%
	4 どちらかといえばそう思う	181	40.8%
	5 とてもそう思う	150	33.8%
	無回答	11	2.5%
(3) リサイクルや再生可能エネルギー等、環境への取り組みが盛んである	1 まったくそう思わない	20	4.5%
	2 あまりそう思わない	29	6.5%
	3 どちらともいえない	140	31.5%
	4 どちらかといえばそう思う	173	39.0%
	5 とてもそう思う	70	15.8%
	無回答	12	2.7%
(4) 防災対策がしっかりしている	1 まったくそう思わない	21	4.7%
	2 あまりそう思わない	57	12.8%
	3 どちらともいえない	231	52.0%
	4 どちらかといえばそう思う	96	21.6%
	5 とてもそう思う	23	5.2%
	無回答	16	3.6%
(5) 防犯対策（交番・防犯カメラ・見守り等）が整っており、治安がよい	1 まったくそう思わない	33	7.4%
	2 あまりそう思わない	73	16.4%
	3 どちらともいえない	205	46.2%
	4 どちらかといえばそう思う	104	23.4%
	5 とてもそう思う	16	3.6%
	無回答	13	2.9%

◎ 地域とのつながりの評価

- 地域とのつながりの評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(5) 困ったときに相談できる人が身近にいる」が23.5%と最も高くなっています。
- 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(6) 地域の人困っていたら手助けをする」が53.6%と最も高くなっています。

図表 地域とのつながりの評価



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 高齢者や障がいのある人が地域で安心して暮らせる支援がある	1 まったくそう思わない	18	4.1%
	2 あまりそう思わない	58	13.1%
	3 どちらともいえない	185	41.7%
	4 どちらかといえばそう思う	138	31.1%
	5 とてもそう思う	27	6.1%
	無回答	18	4.1%
(2) 歩道や信号が整備されていて安心である	1 まったくそう思わない	27	6.1%
	2 あまりそう思わない	59	13.3%
	3 どちらともいえない	147	33.1%
	4 どちらかといえばそう思う	165	37.2%
	5 とてもそう思う	33	7.4%
	無回答	13	2.9%
(3) 同じ地域に住む人たちを信頼している	1 まったくそう思わない	16	3.6%
	2 あまりそう思わない	38	8.6%
	3 どちらともいえない	155	34.9%
	4 どちらかといえばそう思う	183	41.2%
	5 とてもそう思う	42	9.5%
	無回答	10	2.3%
(4) 地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への参加が盛んである	1 まったくそう思わない	22	5.0%
	2 あまりそう思わない	74	16.7%
	3 どちらともいえない	212	47.7%
	4 どちらかといえばそう思う	105	23.6%
	5 とてもそう思う	17	3.8%
	無回答	14	3.2%
(5) 困ったときに相談できる人が身近にいる	1 まったくそう思わない	34	7.7%
	2 あまりそう思わない	70	15.8%
	3 どちらともいえない	123	27.7%
	4 どちらかといえばそう思う	146	32.9%
	5 とてもそう思う	54	12.2%
	無回答	17	3.8%

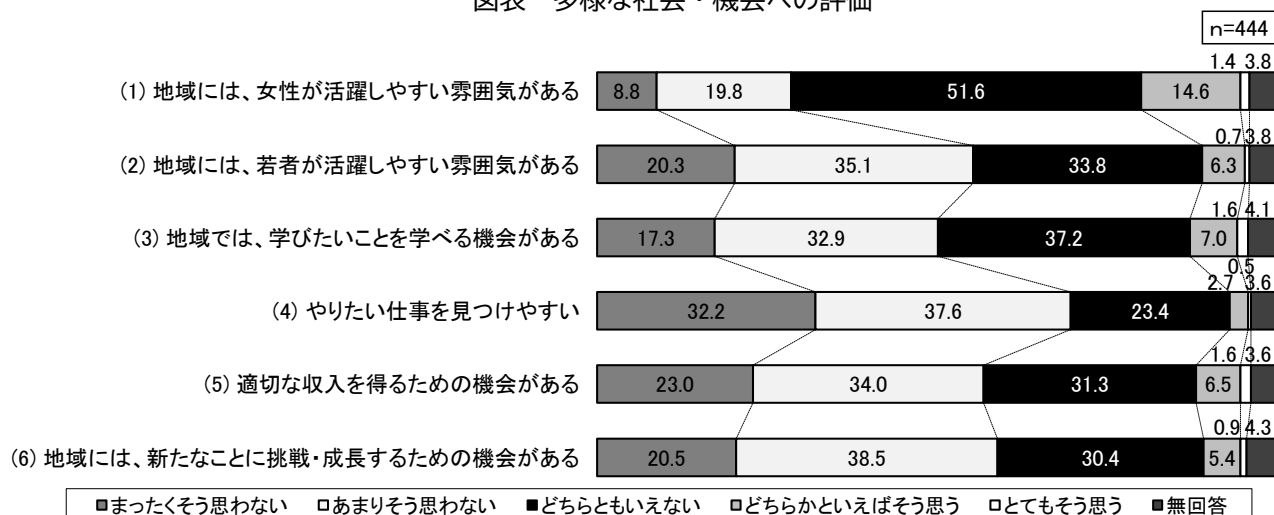
		回答数	構成比
(6) 地域の人困っていたら手助けをする	1 まったくそう思わない	7	1.6%
	2 あまりそう思わない	36	8.1%
	3 どちらともいえない	147	33.1%
	4 どちらかといえばそう思う	188	42.3%
	5 とてもそう思う	50	11.3%
	無回答	16	3.6%
(7) 地域に対して愛着を持っている	1 まったくそう思わない	18	4.1%
	2 あまりそう思わない	45	10.1%
	3 どちらともいえない	137	30.9%
	4 どちらかといえばそう思う	177	39.9%
	5 とてもそう思う	51	11.5%
	無回答	16	3.6%

◎ 多様な社会・機会への評価

○ 多様な社会・機会への評価について回答をみると、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた“暮らしを低く評価”されている項目は、「(4) やりたい仕事を見つけやすい」が69.8%と最も高くなっています。

○ 一方で、「どちらかといえばそう思う」と「とてもそう思う」を合わせた“暮らしを高く評価”されている項目は、「(1) 地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」が16.0%と最も高くなっています。

図表 多様な社会・機会への評価



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	1 まったくそう思わない	39	8.8%
	2 あまりそう思わない	88	19.8%
	3 どちらともいえない	229	51.6%
	4 どちらかといえばそう思う	65	14.6%
	5 とてもそう思う	6	1.4%
	無回答	17	3.8%
(2) 地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	1 まったくそう思わない	90	20.3%
	2 あまりそう思わない	156	35.1%
	3 どちらともいえない	150	33.8%
	4 どちらかといえばそう思う	28	6.3%
	5 とてもそう思う	3	0.7%
	無回答	17	3.8%
(3) 地域では、学びたいことを学べる機会がある	1 まったくそう思わない	77	17.3%
	2 あまりそう思わない	146	32.9%
	3 どちらともいえない	165	37.2%
	4 どちらかといえばそう思う	31	7.0%
	5 とてもそう思う	7	1.6%
	無回答	18	4.1%
(4) やりたい仕事を見つけやすい	1 まったくそう思わない	143	32.2%
	2 あまりそう思わない	167	37.6%
	3 どちらともいえない	104	23.4%
	4 どちらかといえばそう思う	12	2.7%
	5 とてもそう思う	2	0.5%
	無回答	16	3.6%
(5) 適切な収入を得るための機会がある	1 まったくそう思わない	102	23.0%
	2 あまりそう思わない	151	34.0%
	3 どちらともいえない	139	31.3%
	4 どちらかといえばそう思う	29	6.5%
	5 とてもそう思う	7	1.6%
	無回答	16	3.6%
(6) 地域には新たなことに挑戦・成長するための機会がある	1 まったくそう思わない	91	20.5%
	2 あまりそう思わない	171	38.5%
	3 どちらともいえない	135	30.4%
	4 どちらかといえばそう思う	24	5.4%
	5 とてもそう思う	4	0.9%
	無回答	19	4.3%

3 小坂町の取り組みについて

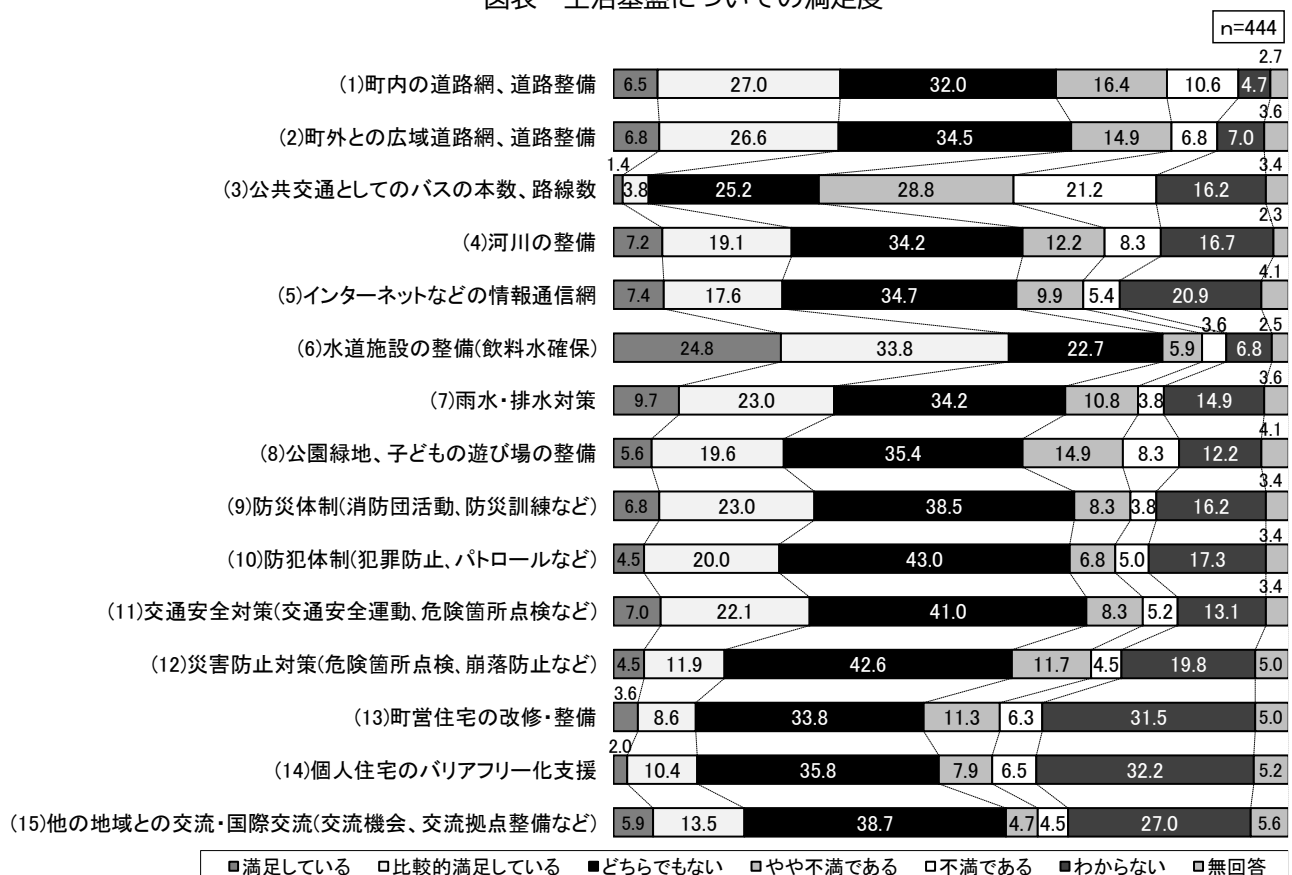
問 次の各施策に対して、あなたの「満足度」と「重要度」について、下の表の区分に照らし合わせて、各設問の右側の欄からあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

1 生活基盤について

① 満足度

- 生活基盤についての満足度について、「満足している」と「比較的満足している」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(6)水道施設の整備(飲料水確保)」で58.6%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(3)公共交通としてのバスの本数、路線数」で50.0%と最も高くなっています。

図表 生活基盤についての満足度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 町内の道路網、道路整備	1 満足している	29	6.5%
	2 比較的満足している	120	27.0%
	3 どちらでもない	142	32.0%
	4 やや不満である	73	16.4%
	5 不満である	47	10.6%
	6 わからない	21	4.7%
	無回答	12	2.7%
(2) 町外との広域道路網、道路整備	1 満足している	30	6.8%
	2 比較的満足している	118	26.6%
	3 どちらでもない	153	34.5%
	4 やや不満である	66	14.9%
	5 不満である	30	6.8%
	6 わからない	31	7.0%
	無回答	16	3.6%
(3) 公共交通としてのバスの本数、路線数	1 満足している	6	1.4%
	2 比較的満足している	17	3.8%
	3 どちらでもない	112	25.2%
	4 やや不満である	128	28.8%
	5 不満である	94	21.2%
	6 わからない	72	16.2%
	無回答	15	3.4%
(4) 河川の整備	1 満足している	32	7.2%
	2 比較的満足している	85	19.1%
	3 どちらでもない	152	34.2%
	4 やや不満である	54	12.2%
	5 不満である	37	8.3%
	6 わからない	74	16.7%
	無回答	10	2.3%
(5) インターネットなどの情報通信網	1 満足している	33	7.4%
	2 比較的満足している	78	17.6%
	3 どちらでもない	154	34.7%
	4 やや不満である	44	9.9%
	5 不満である	24	5.4%
	6 わからない	93	20.9%
	無回答	18	4.1%
(6) 水道施設の整備(飲料水確保)	1 満足している	110	24.8%
	2 比較的満足している	150	33.8%
	3 どちらでもない	101	22.7%
	4 やや不満である	26	5.9%
	5 不満である	16	3.6%
	6 わからない	30	6.8%
	無回答	11	2.5%

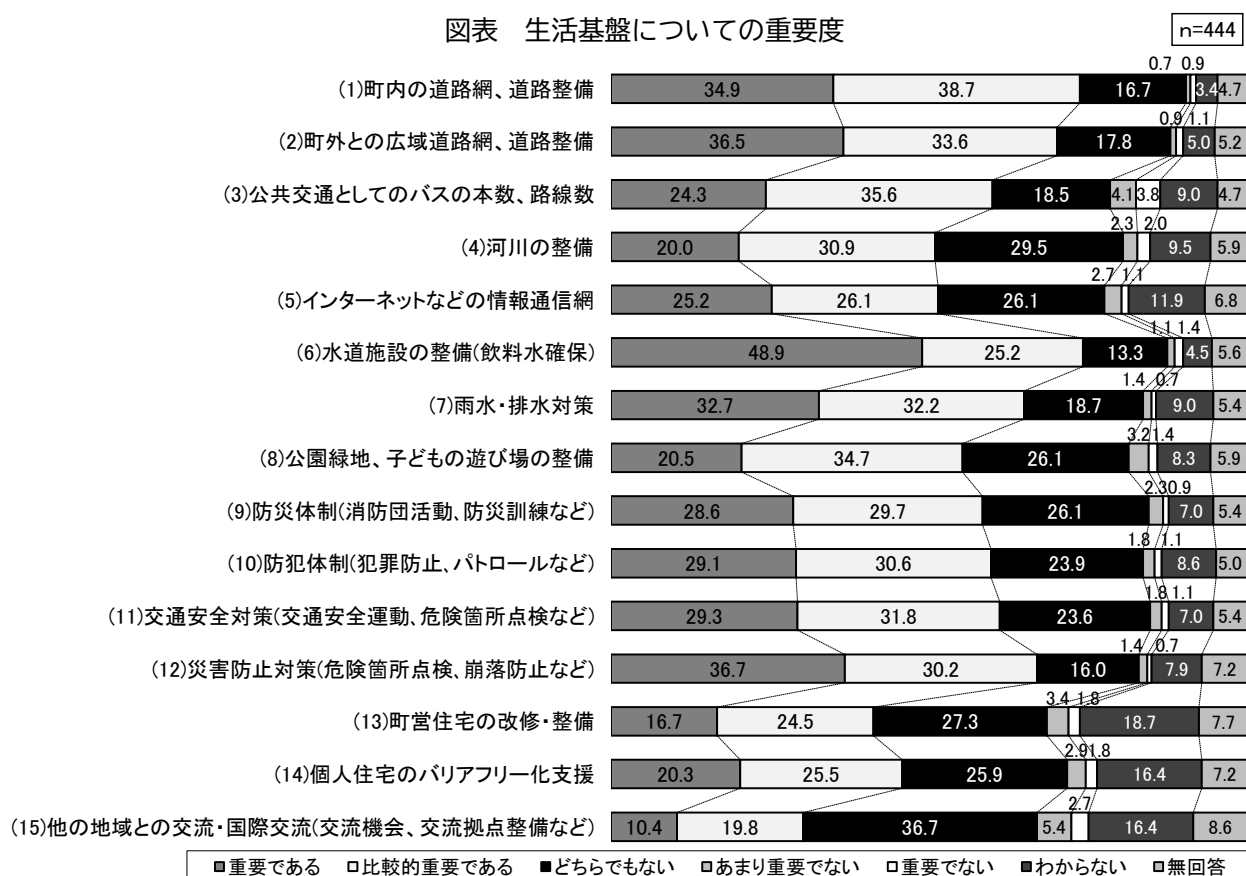
		回答数	構成比
(7) 雨水・排水対策	1 満足している	43	9.7%
	2 比較的満足している	102	23.0%
	3 どちらでもない	152	34.2%
	4 やや不満である	48	10.8%
	5 不満である	17	3.8%
	6 わからない	66	14.9%
	無回答	16	3.6%
(8) 公園緑地、子どもの遊び場の整備	1 満足している	25	5.6%
	2 比較的満足している	87	19.6%
	3 どちらでもない	157	35.4%
	4 やや不満である	66	14.9%
	5 不満である	37	8.3%
	6 わからない	54	12.2%
	無回答	18	4.1%
(9) 防災体制(消防団活動、防災訓練など)	1 満足している	30	6.8%
	2 比較的満足している	102	23.0%
	3 どちらでもない	171	38.5%
	4 やや不満である	37	8.3%
	5 不満である	17	3.8%
	6 わからない	72	16.2%
	無回答	15	3.4%
(10) 防犯体制(犯罪防止、パトロールなど)	1 満足している	20	4.5%
	2 比較的満足している	89	20.0%
	3 どちらでもない	191	43.0%
	4 やや不満である	30	6.8%
	5 不満である	22	5.0%
	6 わからない	77	17.3%
	無回答	15	3.4%
(11) 交通安全対策(交通安全運動、危険箇所点検など)	1 満足している	31	7.0%
	2 比較的満足している	98	22.1%
	3 どちらでもない	182	41.0%
	4 やや不満である	37	8.3%
	5 不満である	23	5.2%
	6 わからない	58	13.1%
	無回答	15	3.4%
(12) 災害防止対策(危険箇所点検、崩落防止など)	1 満足している	20	4.5%
	2 比較的満足している	53	11.9%
	3 どちらでもない	189	42.6%
	4 やや不満である	52	11.7%
	5 不満である	20	4.5%
	6 わからない	88	19.8%
	無回答	22	5.0%

		回答数	構成比
(13) 町営住宅の改修・整備	1 満足している	16	3.6%
	2 比較的満足している	38	8.6%
	3 どちらでもない	150	33.8%
	4 やや不満である	50	11.3%
	5 不満である	28	6.3%
	6 わからない	140	31.5%
	無回答	22	5.0%
(14) 個人住宅のバリアフリー化支援.	1 満足している	9	2.0%
	2 比較的満足している	46	10.4%
	3 どちらでもない	159	35.8%
	4 やや不満である	35	7.9%
	5 不満である	29	6.5%
	6 わからない	143	32.2%
	無回答	23	5.2%
(15) 他の地域との交流・国際交流(交流機会、交流拠点整備など)	1 満足している	26	5.9%
	2 比較的満足している	60	13.5%
	3 どちらでもない	172	38.7%
	4 やや不満である	21	4.7%
	5 不満である	20	4.5%
	6 わからない	120	27.0%
	無回答	25	5.6%

② 重要度

- 生活基盤についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(6)」で74.1%と最も高くなっています。
- 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(15) 他の地域との交流・国際交流(交流機会、交流拠点整備など)」で8.1%となっています。

図表 生活基盤についての重要度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 町内の道路網、道路整備	1 重要である	155	34.9%
	2 比較的重要である	172	38.7%
	3 どちらでもない	74	16.7%
	4 あまり重要でない	3	0.7%
	5 重要でない	4	0.9%
	6 わからない	15	3.4%
	無回答	21	4.7%
(2) 町外との広域道路網、道路整備	1 重要である	162	36.5%
	2 比較的重要である	149	33.6%
	3 どちらでもない	79	17.8%
	4 あまり重要でない	4	0.9%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	22	5.0%
	無回答	23	5.2%

		回答数	構成比
(3) 公共交通としてのバスの本数、路線数	1 重要である	108	24.3%
	2 比較的重要である	158	35.6%
	3 どちらでもない	82	18.5%
	4 あまり重要でない	18	4.1%
	5 重要でない	17	3.8%
	6 わからない	40	9.0%
	無回答	21	4.7%
(4) 河川の整備	1 重要である	89	20.0%
	2 比較的重要である	137	30.9%
	3 どちらでもない	131	29.5%
	4 あまり重要でない	10	2.3%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	42	9.5%
	無回答	26	5.9%
(5) インターネットなどの情報通信網	1 重要である	112	25.2%
	2 比較的重要である	116	26.1%
	3 どちらでもない	116	26.1%
	4 あまり重要でない	12	2.7%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	53	11.9%
	無回答	30	6.8%
(6) 水道施設の整備(飲料水確保)	1 重要である	217	48.9%
	2 比較的重要である	112	25.2%
	3 どちらでもない	59	13.3%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	20	4.5%
	無回答	25	5.6%
(7) 雨水・排水対策	1 重要である	145	32.7%
	2 比較的重要である	143	32.2%
	3 どちらでもない	83	18.7%
	4 あまり重要でない	6	1.4%
	5 重要でない	3	0.7%
	6 わからない	40	9.0%
	無回答	24	5.4%
(8) 公園緑地、子どもの遊び場の整備	1 重要である	91	20.5%
	2 比較的重要である	154	34.7%
	3 どちらでもない	116	26.1%
	4 あまり重要でない	14	3.2%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	37	8.3%
	無回答	26	5.9%

		回答数	構成比
(9) 防災体制(消防団活動、防災訓練など)	1 重要である	127	28.6%
	2 比較的重要である	132	29.7%
	3 どちらでもない	116	26.1%
	4 あまり重要でない	10	2.3%
	5 重要でない	4	0.9%
	6 わからない	31	7.0%
	無回答	24	5.4%
(10) 防犯体制(犯罪防止、パトロールなど)	1 重要である	129	29.1%
	2 比較的重要である	136	30.6%
	3 どちらでもない	106	23.9%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	38	8.6%
	無回答	22	5.0%
(11) 交通安全対策(交通安全運動、危険箇所点検など)	1 重要である	130	29.3%
	2 比較的重要である	141	31.8%
	3 どちらでもない	105	23.6%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	31	7.0%
	無回答	24	5.4%
(12) 災害防止対策(危険箇所点検、崩落防止など)	1 重要である	163	36.7%
	2 比較的重要である	134	30.2%
	3 どちらでもない	71	16.0%
	4 あまり重要でない	6	1.4%
	5 重要でない	3	0.7%
	6 わからない	35	7.9%
	無回答	32	7.2%
(13) 町営住宅の改修・整備	1 重要である	74	16.7%
	2 比較的重要である	109	24.5%
	3 どちらでもない	121	27.3%
	4 あまり重要でない	15	3.4%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	83	18.7%
	無回答	34	7.7%
(14) 個人住宅のバリアフリー化支援.	1 重要である	90	20.3%
	2 比較的重要である	113	25.5%
	3 どちらでもない	115	25.9%
	4 あまり重要でない	13	2.9%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	73	16.4%
	無回答	32	7.2%

		回答数	構成比
(15) 他の地域との交流・国際交流(交流機会、交流拠点整備など)	1 重要である	46	10.4%
	2 比較的重要である	88	19.8%
	3 どちらでもない	163	36.7%
	4 あまり重要でない	24	5.4%
	5 重要でない	12	2.7%
	6 わからない	73	16.4%
	無回答	38	8.6%

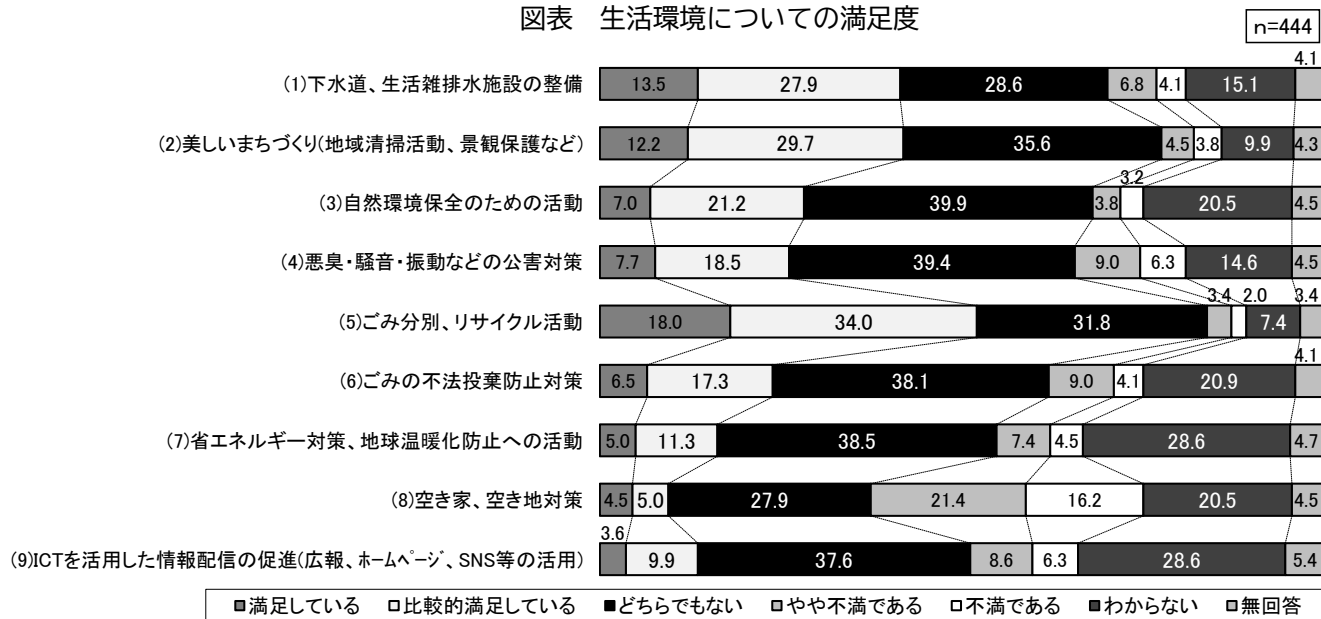
2 生活環境について

① 満足度

○ 生活環境についての満足度について、「満足している」と「比較的重要である」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(5) ごみ分別、リサイクル活動」で52.0%と最も高くなっています。

○ 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(8) 空き家、空き地対策」で37.6%と最も高くなっています。

図表 生活環境についての満足度



(n=444)

		回答数	構成比
(1) 下水道、生活雑排水施設の整備	1 満足している	60	13.5%
	2 比較的重要である	124	27.9%
	3 どちらでもない	127	28.6%
	4 やや不満である	30	6.8%
	5 不満である	18	4.1%
	6 わからない	67	15.1%
	無回答	18	4.1%

		回答数	構成比
(2) 美しいまちづくり(地域清掃活動、 景観保護など)	1 満足している	54	12.2%
	2 比較的満足している	132	29.7%
	3 どちらでもない	158	35.6%
	4 やや不満である	20	4.5%
	5 不満である	17	3.8%
	6 わからない	44	9.9%
	無回答	19	4.3%
(3) 自然環境保全のための活動	1 満足している	31	7.0%
	2 比較的満足している	94	21.2%
	3 どちらでもない	177	39.9%
	4 やや不満である	17	3.8%
	5 不満である	14	3.2%
	6 わからない	91	20.5%
	無回答	20	4.5%
(4) 悪臭・騒音・振動などの公害対策	1 満足している	34	7.7%
	2 比較的満足している	82	18.5%
	3 どちらでもない	175	39.4%
	4 やや不満である	40	9.0%
	5 不満である	28	6.3%
	6 わからない	65	14.6%
	無回答	20	4.5%
(5) ごみ分別、リサイクル活動	1 満足している	80	18.0%
	2 比較的満足している	151	34.0%
	3 どちらでもない	141	31.8%
	4 やや不満である	15	3.4%
	5 不満である	9	2.0%
	6 わからない	33	7.4%
	無回答	15	3.4%
(6) ごみの不法投棄防止対策	1 満足している	29	6.5%
	2 比較的満足している	77	17.3%
	3 どちらでもない	169	38.1%
	4 やや不満である	40	9.0%
	5 不満である	18	4.1%
	6 わからない	93	20.9%
	無回答	18	4.1%
(7) 省エネルギー対策、地球温暖化防止 への活動	1 満足している	22	5.0%
	2 比較的満足している	50	11.3%
	3 どちらでもない	171	38.5%
	4 やや不満である	33	7.4%
	5 不満である	20	4.5%
	6 わからない	127	28.6%
	無回答	21	4.7%

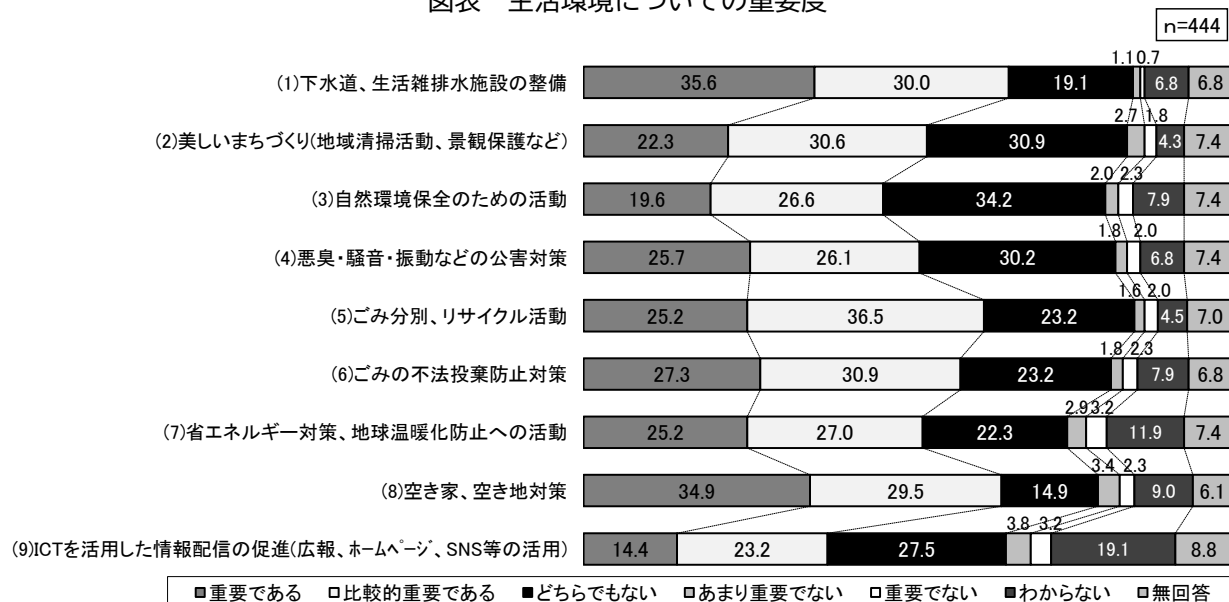
		回答数	構成比
(8) 空き家、空き地対策	1 満足している	20	4.5%
	2 比較的満足している	22	5.0%
	3 どちらでもない	124	27.9%
	4 やや不満である	95	21.4%
	5 不満である	72	16.2%
	6 わからない	91	20.5%
	無回答	20	4.5%
(9) ICTを活用した情報配信の促進(広報、ホームページ、SNS等の活用)	1 満足している	16	3.6%
	2 比較的満足している	44	9.9%
	3 どちらでもない	167	37.6%
	4 やや不満である	38	8.6%
	5 不満である	28	6.3%
	6 わからない	127	28.6%
	無回答	24	5.4%

② 重要度

○ 生活環境についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(1) 下水道、生活雑排水施設の整備」で65.6%と最も高くなっています。

○ 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(9) ICTを活用した情報配信の促進(広報、ホームページ、SNS等の活用)」で7.0%となっています。

図表 生活環境についての重要度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 下水道、生活雑排水施設の整備	1 重要である	158	35.6%
	2 比較的重要である	133	30.0%
	3 どちらでもない	85	19.1%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	3	0.7%
	6 わからない	30	6.8%
	無回答	30	6.8%
(2) 美しいまちづくり(地域清掃活動、 景観保護など)	1 重要である	99	22.3%
	2 比較的重要である	136	30.6%
	3 どちらでもない	137	30.9%
	4 あまり重要でない	12	2.7%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	19	4.3%
	無回答	33	7.4%
(3) 自然環境保全のための活動	1 重要である	87	19.6%
	2 比較的重要である	118	26.6%
	3 どちらでもない	152	34.2%
	4 あまり重要でない	9	2.0%
	5 重要でない	10	2.3%
	6 わからない	35	7.9%
	無回答	33	7.4%
(4) 悪臭・騒音・振動などの公害対策	1 重要である	114	25.7%
	2 比較的重要である	116	26.1%
	3 どちらでもない	134	30.2%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	30	6.8%
	無回答	33	7.4%
(5) ごみ分別、リサイクル活動	1 重要である	112	25.2%
	2 比較的重要である	162	36.5%
	3 どちらでもない	103	23.2%
	4 あまり重要でない	7	1.6%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	20	4.5%
	無回答	31	7.0%
(6) ごみの不法投棄防止対策	1 重要である	121	27.3%
	2 比較的重要である	137	30.9%
	3 どちらでもない	103	23.2%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	10	2.3%
	6 わからない	35	7.9%
	無回答	30	6.8%

		回答数	構成比
(7) 省エネルギー対策、地球温暖化防止への活動	1 重要である	112	25.2%
	2 比較的重要である	120	27.0%
	3 どちらでもない	99	22.3%
	4 あまり重要でない	13	2.9%
	5 重要でない	14	3.2%
	6 わからない	53	11.9%
	無回答	33	7.4%
(8) 空き家、空き地対策	1 重要である	155	34.9%
	2 比較的重要である	131	29.5%
	3 どちらでもない	66	14.9%
	4 あまり重要でない	15	3.4%
	5 重要でない	10	2.3%
	6 わからない	40	9.0%
	無回答	27	6.1%
(9) ICTを活用した情報配信の促進(広報、ホームページ、SNS等の活用)	1 重要である	64	14.4%
	2 比較的重要である	103	23.2%
	3 どちらでもない	122	27.5%
	4 あまり重要でない	17	3.8%
	5 重要でない	14	3.2%
	6 わからない	85	19.1%
	無回答	39	8.8%

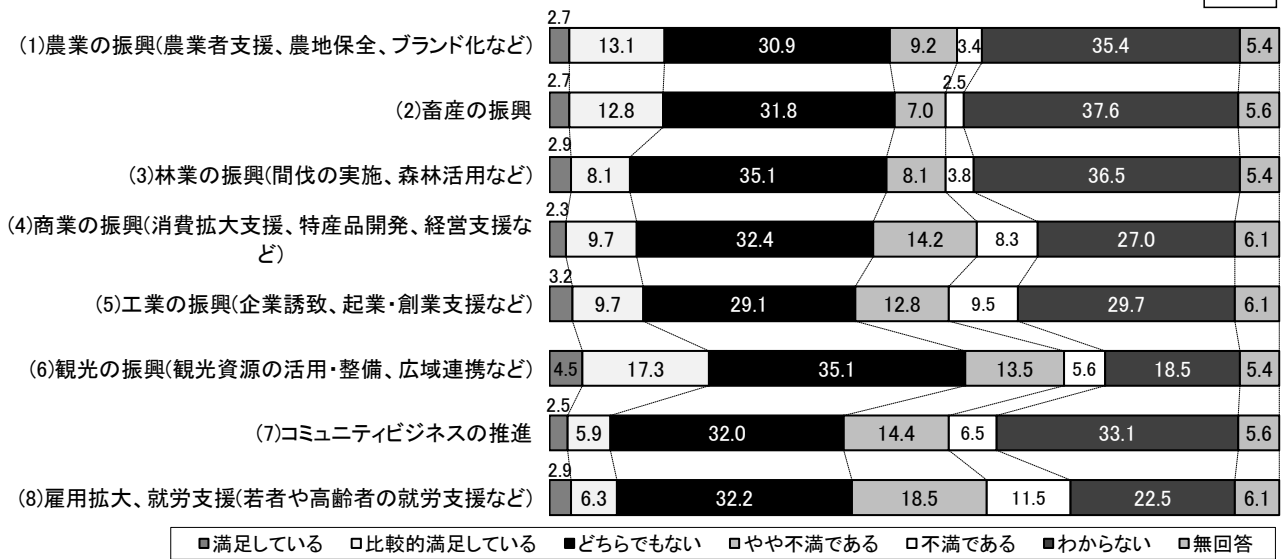
3 産業振興・就労支援について

① 満足度

- 産業振興・就労支援についての満足度について、「満足している」と「比較的重要している」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(6) 観光の振興(観光資源の活用・整備、広域連携など)」で21.8%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(8) 雇用拡大、就労支援(若者や高齢者の就労支援など)」で30.0%と最も高くなっています。

図表 産業振興・就労支援についての満足度

n=444



(n=444)

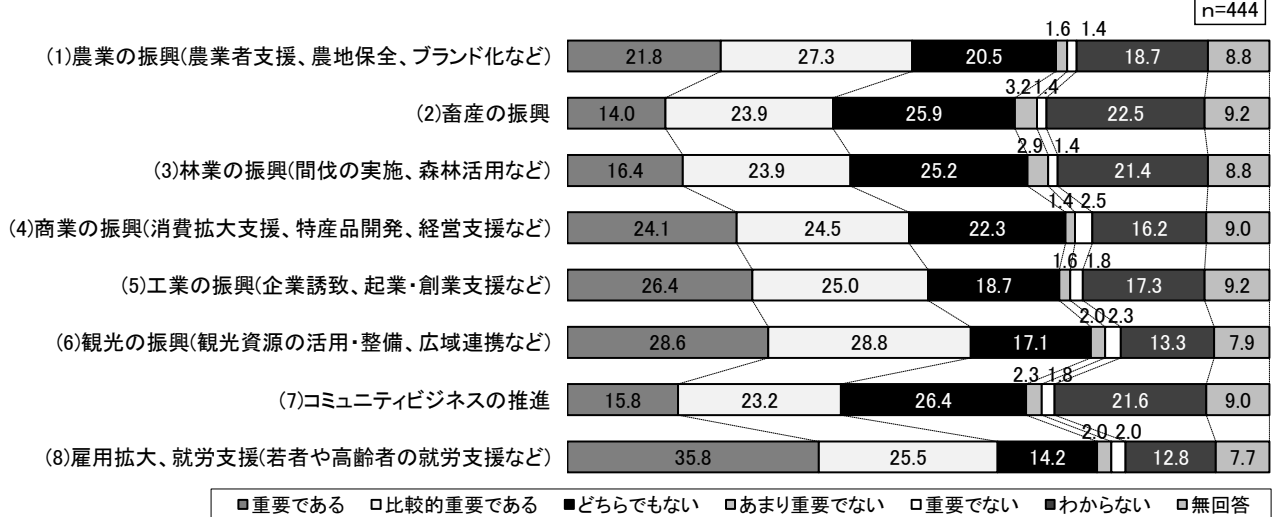
		回答数	構成比
(1) 農業の振興(農業者支援、農地保全、ブランド化など)	1 満足している	12	2.7%
	2 比較的満足している	58	13.1%
	3 どちらでもない	137	30.9%
	4 やや不満である	41	9.2%
	5 不満である	15	3.4%
	6 わからない	157	35.4%
	無回答	24	5.4%
(2) 畜産の振興	1 満足している	12	2.7%
	2 比較的満足している	57	12.8%
	3 どちらでもない	141	31.8%
	4 やや不満である	31	7.0%
	5 不満である	11	2.5%
	6 わからない	167	37.6%
	無回答	25	5.6%
(3) 林業の振興(間伐の実施、森林活用など)	1 満足している	13	2.9%
	2 比較的満足している	36	8.1%
	3 どちらでもない	156	35.1%
	4 やや不満である	36	8.1%
	5 不満である	17	3.8%
	6 わからない	162	36.5%
	無回答	24	5.4%
(4) 商業の振興(消費拡大支援、特産品開発、経営支援など)	1 満足している	10	2.3%
	2 比較的満足している	43	9.7%
	3 どちらでもない	144	32.4%
	4 やや不満である	63	14.2%
	5 不満である	37	8.3%
	6 わからない	120	27.0%
	無回答	27	6.1%

		回答数	構成比
(5) 工業の振興(企業誘致、起業・創業支援など)	1 満足している	14	3.2%
	2 比較的満足している	43	9.7%
	3 どちらでもない	129	29.1%
	4 やや不満である	57	12.8%
	5 不満である	42	9.5%
	6 わからない	132	29.7%
	無回答	27	6.1%
(6) 観光の振興(観光資源の活用・整備、広域連携など)	1 満足している	20	4.5%
	2 比較的満足している	77	17.3%
	3 どちらでもない	156	35.1%
	4 やや不満である	60	13.5%
	5 不満である	25	5.6%
	6 わからない	82	18.5%
	無回答	24	5.4%
(7) コミュニティビジネスの推進	1 満足している	11	2.5%
	2 比較的満足している	26	5.9%
	3 どちらでもない	142	32.0%
	4 やや不満である	64	14.4%
	5 不満である	29	6.5%
	6 わからない	147	33.1%
	無回答	25	5.6%
(8) 雇用拡大、就労支援(若者や高齢者の就労支援など)	1 満足している	13	2.9%
	2 比較的満足している	28	6.3%
	3 どちらでもない	143	32.2%
	4 やや不満である	82	18.5%
	5 不満である	51	11.5%
	6 わからない	100	22.5%
	無回答	27	6.1%

② 重要度

- 産業振興・就労支援についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(8) 雇用拡大、就労支援(若者や高齢者の就労支援など)」で61.3%と最も高くなっています。
- 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(2) 畜産の振興」で4.6%となっています。

図表 産業振興・就労支援についての重要度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 農業の振興(農業者支援、農地保全、ブランド化など)	1 重要である	97	21.8%
	2 比較的重要である	121	27.3%
	3 どちらでもない	91	20.5%
	4 あまり重要でない	7	1.6%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	83	18.7%
	無回答	39	8.8%
(2) 畜産の振興	1 重要である	62	14.0%
	2 比較的重要である	106	23.9%
	3 どちらでもない	115	25.9%
	4 あまり重要でない	14	3.2%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	100	22.5%
	無回答	41	9.2%
(3) 林業の振興(間伐の実施、森林活用など)	1 重要である	73	16.4%
	2 比較的重要である	106	23.9%
	3 どちらでもない	112	25.2%
	4 あまり重要でない	13	2.9%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	95	21.4%
	無回答	39	8.8%
(4) 商業の振興(消費拡大支援、特産品開発、経営支援など)	1 重要である	107	24.1%
	2 比較的重要である	109	24.5%
	3 どちらでもない	99	22.3%
	4 あまり重要でない	6	1.4%
	5 重要でない	11	2.5%
	6 わからない	72	16.2%
	無回答	40	9.0%

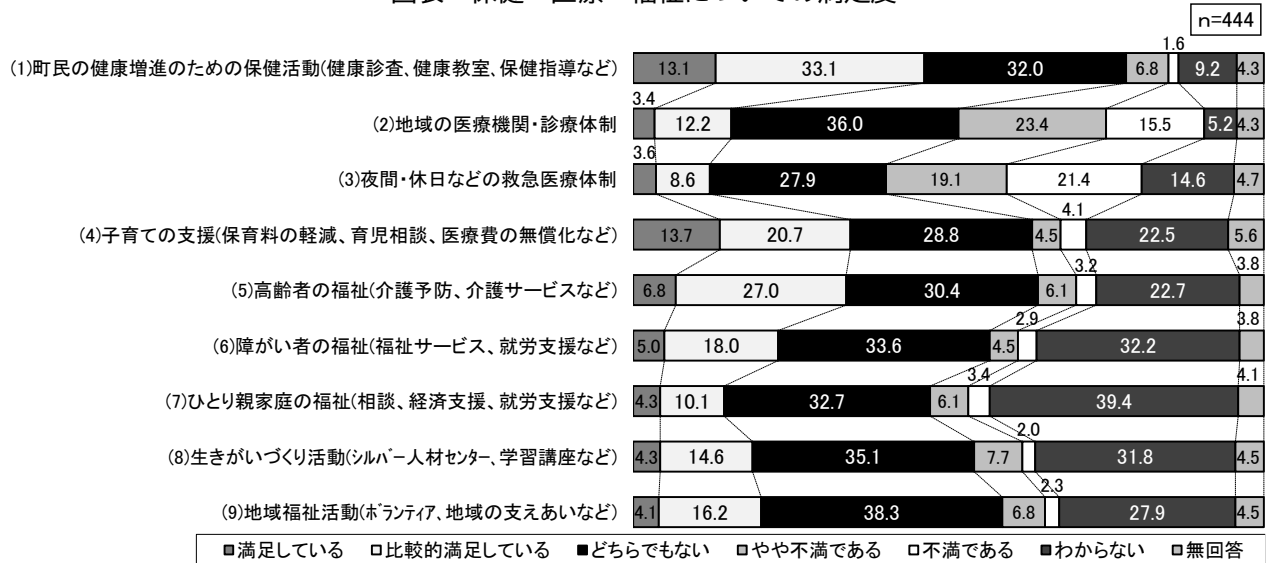
		回答数	構成比
(5) 工業の振興(企業誘致、起業・創業支援など)	1 重要である	117	26.4%
	2 比較的重要である	111	25.0%
	3 どちらでもない	83	18.7%
	4 あまり重要でない	7	1.6%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	77	17.3%
	無回答	41	9.2%
(6) 観光の振興(観光資源の活用・整備、広域連携など)	1 重要である	127	28.6%
	2 比較的重要である	128	28.8%
	3 どちらでもない	76	17.1%
	4 あまり重要でない	9	2.0%
	5 重要でない	10	2.3%
	6 わからない	59	13.3%
	無回答	35	7.9%
(7) コミュニティビジネスの推進	1 重要である	70	15.8%
	2 比較的重要である	103	23.2%
	3 どちらでもない	117	26.4%
	4 あまり重要でない	10	2.3%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	96	21.6%
	無回答	40	9.0%
(8) 雇用拡大、就労支援(若者や高齢者の就労支援など)	1 重要である	159	35.8%
	2 比較的重要である	113	25.5%
	3 どちらでもない	63	14.2%
	4 あまり重要でない	9	2.0%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	57	12.8%
	無回答	34	7.7%

4 保健・医療・福祉について

① 満足度

- 保健・医療・福祉についての満足度について、「満足している」と「比較的重要である」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(1) 町民の健康増進のための保健活動(健康診査、健康教室、保健指導など)」で46.2%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(3) 夜間・休日などの救急医療体制」で40.5%と最も高くなっています。

図表 保健・医療・福祉についての満足度



(n=444)		
	回答数	構成比
(1) 町民の健康増進のための保健活動 (健康診査、健康教室、保健指導など)	1 満足している	58 13.1%
	2 比較的満足している	147 33.1%
	3 どちらでもない	142 32.0%
	4 やや不満である	30 6.8%
	5 不満である	7 1.6%
	6 わからない	41 9.2%
	無回答	19 4.3%
(2) 地域の医療機関・診療体制	1 満足している	15 3.4%
	2 比較的満足している	54 12.2%
	3 どちらでもない	160 36.0%
	4 やや不満である	104 23.4%
	5 不満である	69 15.5%
	6 わからない	23 5.2%
	無回答	19 4.3%
(3) 夜間・休日などの救急医療体制	1 満足している	16 3.6%
	2 比較的満足している	38 8.6%
	3 どちらでもない	124 27.9%
	4 やや不満である	85 19.1%
	5 不満である	95 21.4%
	6 わからない	65 14.6%
	無回答	21 4.7%
(4) 子育ての支援(保育料の軽減、育児 相談、医療費の無償化など)	1 満足している	61 13.7%
	2 比較的満足している	92 20.7%
	3 どちらでもない	128 28.8%
	4 やや不満である	20 4.5%
	5 不満である	18 4.1%
	6 わからない	100 22.5%
	無回答	25 5.6%

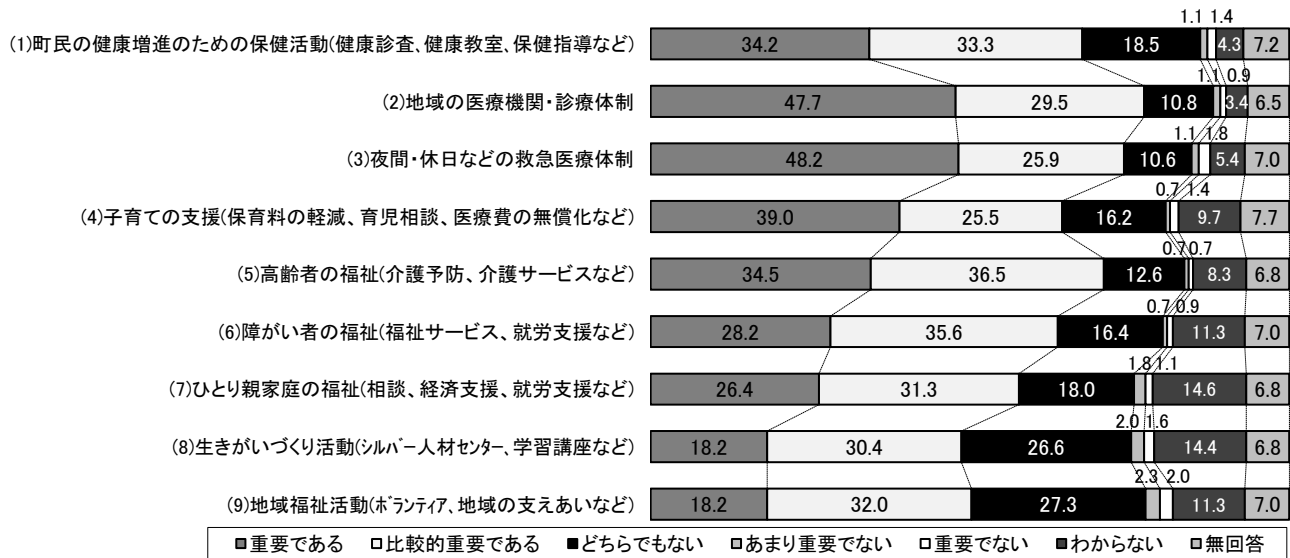
		回答数	構成比
(5) 高齢者の福祉(介護予防、介護サービスなど)	1 満足している	30	6.8%
	2 比較的満足している	120	27.0%
	3 どちらでもない	135	30.4%
	4 やや不満である	27	6.1%
	5 不満である	14	3.2%
	6 わからない	101	22.7%
	無回答	17	3.8%
(6) 障がい者の福祉(福祉サービス、就労支援など)	1 満足している	22	5.0%
	2 比較的満足している	80	18.0%
	3 どちらでもない	149	33.6%
	4 やや不満である	20	4.5%
	5 不満である	13	2.9%
	6 わからない	143	32.2%
	無回答	17	3.8%
(7) ひとり親家庭の福祉(相談、経済支援、就労支援など)	1 満足している	19	4.3%
	2 比較的満足している	45	10.1%
	3 どちらでもない	145	32.7%
	4 やや不満である	27	6.1%
	5 不満である	15	3.4%
	6 わからない	175	39.4%
	無回答	18	4.1%
(8) 生きがいづくり活動(シルバー人材センター、学習講座など)	1 満足している	19	4.3%
	2 比較的満足している	65	14.6%
	3 どちらでもない	156	35.1%
	4 やや不満である	34	7.7%
	5 不満である	9	2.0%
	6 わからない	141	31.8%
	無回答	20	4.5%
(9) 地域福祉活動(ボランティア、地域の支えあいなど)	1 満足している	18	4.1%
	2 比較的満足している	72	16.2%
	3 どちらでもない	170	38.3%
	4 やや不満である	30	6.8%
	5 不満である	10	2.3%
	6 わからない	124	27.9%
	無回答	20	4.5%

② 重要度

- 健・医療・福祉についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(2) 地域の医療機関・診療体制」で77.2%と最も高くなっています。
- 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(9) 地域福祉活動(ボランティア、地域の支えあいなど)」で4.3%となっています。

図表 健・医療・福祉についての重要度

n=444



(n=444)

		回答数	構成比
(1) 町民の健康増進のための保健活動 (健康診査、健康教室、保健指導など)	1 重要である	152	34.2%
	2 比較的重要である	148	33.3%
	3 どちらでもない	82	18.5%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	19	4.3%
	無回答	32	7.2%
(2) 地域の医療機関・診療体制	1 重要である	212	47.7%
	2 比較的重要である	131	29.5%
	3 どちらでもない	48	10.8%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	4	0.9%
	6 わからない	15	3.4%
	無回答	29	6.5%
(3) 夜間・休日などの救急医療体制	1 重要である	214	48.2%
	2 比較的重要である	115	25.9%
	3 どちらでもない	47	10.6%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	24	5.4%
	無回答	31	7.0%
(4) 子育ての支援(保育料の軽減、育児 相談、医療費の無償化など)	1 重要である	173	39.0%
	2 比較的重要である	113	25.5%
	3 どちらでもない	72	16.2%
	4 あまり重要でない	3	0.7%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	43	9.7%
	無回答	34	7.7%

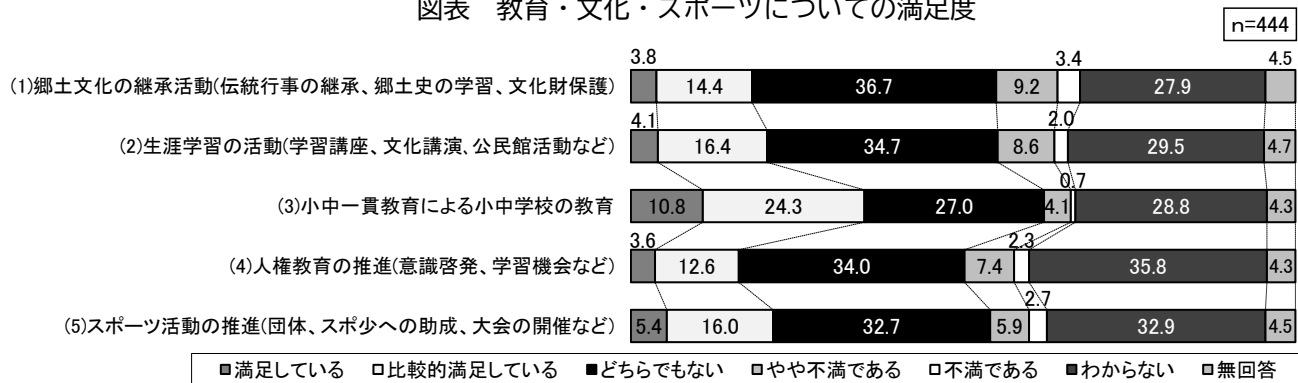
		回答数	構成比
(5) 高齢者の福祉(介護予防、介護サービスなど)	1 重要である	153	34.5%
	2 比較的重要である	162	36.5%
	3 どちらでもない	56	12.6%
	4 あまり重要でない	3	0.7%
	5 重要でない	3	0.7%
	6 わからない	37	8.3%
	無回答	30	6.8%
(6) 障がい者の福祉(福祉サービス、就労支援など)	1 重要である	125	28.2%
	2 比較的重要である	158	35.6%
	3 どちらでもない	73	16.4%
	4 あまり重要でない	3	0.7%
	5 重要でない	4	0.9%
	6 わからない	50	11.3%
	無回答	31	7.0%
(7) ひとり親家庭の福祉(相談、経済支援、就労支援など)	1 重要である	117	26.4%
	2 比較的重要である	139	31.3%
	3 どちらでもない	80	18.0%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	65	14.6%
	無回答	30	6.8%
(8) 生きがいづくり活動(シルバー人材センター、学習講座など)	1 重要である	81	18.2%
	2 比較的重要である	135	30.4%
	3 どちらでもない	118	26.6%
	4 あまり重要でない	9	2.0%
	5 重要でない	7	1.6%
	6 わからない	64	14.4%
	無回答	30	6.8%
(9) 地域福祉活動(ボランティア、地域の支えあいなど)	1 重要である	81	18.2%
	2 比較的重要である	142	32.0%
	3 どちらでもない	121	27.3%
	4 あまり重要でない	10	2.3%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	50	11.3%
	無回答	31	7.0%

5 教育・文化・スポーツについて

① 満足度

- 教育・文化・スポーツについての満足度について、「満足している」と「比較的満足している」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(3) 小中一貫教育による小中学校の教育」で35.1%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(1) 郷土文化の継承活動(伝統行事の継承、郷土史の学習、文化財保護)」で12.6%と最も高くなっています。

図表 教育・文化・スポーツについての満足度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 郷土文化の継承活動(伝統行事の継承、郷土史の学習、文化財保護)	1 満足している	17	3.8%
	2 比較的満足している	64	14.4%
	3 どちらでもない	163	36.7%
	4 やや不満である	41	9.2%
	5 不満である	15	3.4%
	6 わからない	124	27.9%
	無回答	20	4.5%
(2) 生涯学習の活動(学習講座、文化講演、公民館活動など)	1 満足している	18	4.1%
	2 比較的満足している	73	16.4%
	3 どちらでもない	154	34.7%
	4 やや不満である	38	8.6%
	5 不満である	9	2.0%
	6 わからない	131	29.5%
	無回答	21	4.7%
(3) 小中一貫教育による小中学校の教育	1 満足している	48	10.8%
	2 比較的満足している	108	24.3%
	3 どちらでもない	120	27.0%
	4 やや不満である	18	4.1%
	5 不満である	3	0.7%
	6 わからない	128	28.8%
	無回答	19	4.3%

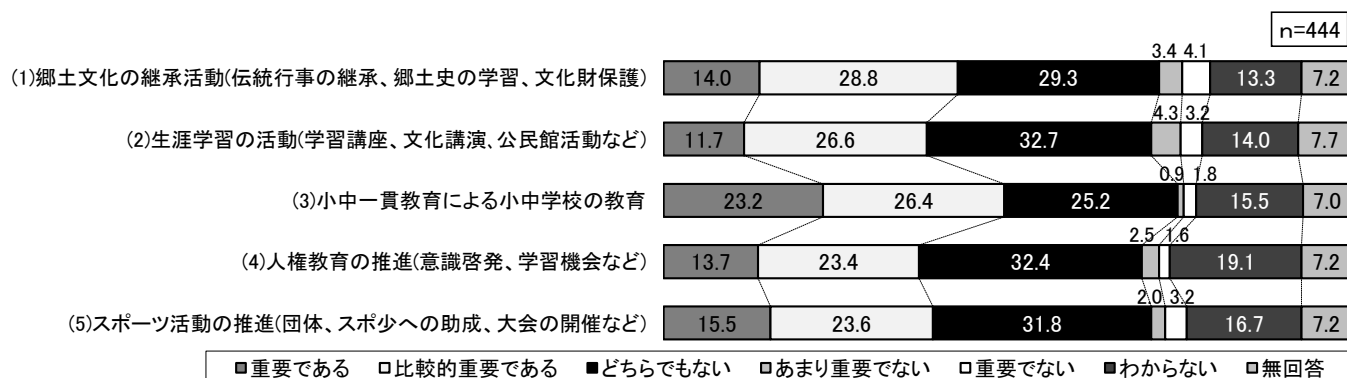
		回答数	構成比
(4) 人権教育の推進(意識啓発、学習機会など)	1 満足している	16	3.6%
	2 比較的満足している	56	12.6%
	3 どちらでもない	151	34.0%
	4 やや不満である	33	7.4%
	5 不満である	10	2.3%
	6 わからない	159	35.8%
	無回答	19	4.3%
(5) スポーツ活動の推進(団体、スポーツへの助成、大会の開催など)	1 満足している	24	5.4%
	2 比較的満足している	71	16.0%
	3 どちらでもない	145	32.7%
	4 やや不満である	26	5.9%
	5 不満である	12	2.7%
	6 わからない	146	32.9%
	無回答	20	4.5%

② 重要度

○ 教育・文化・スポーツについての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(3) 小中一貫教育による小中学校の教育」で49.6%と最も高くなっています。

○ 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(2) 生涯学習の活動(学習講座、文化講演、公民館活動など)」で7.5%となっています。

図表 教育・文化・スポーツについての重要度



		回答数	構成比
(1) 郷土文化の継承活動(伝統行事の継承、郷土史の学習、文化財保護)	1 重要である	62	14.0%
	2 比較的重要である	128	28.8%
	3 どちらでもない	130	29.3%
	4 あまり重要でない	15	3.4%
	5 重要でない	18	4.1%
	6 わからない	59	13.3%
	無回答	32	7.2%

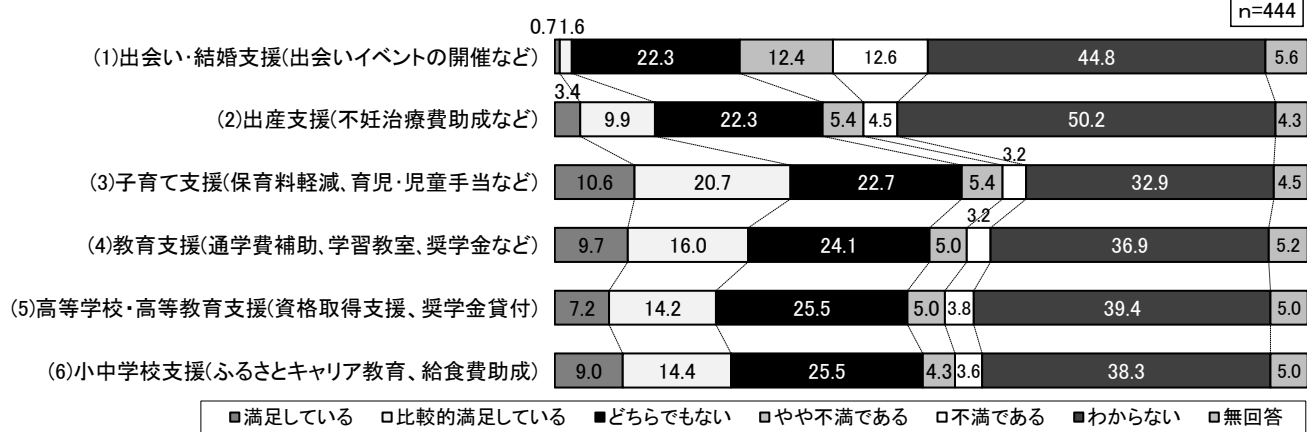
		回答数	構成比
(2) 生涯学習の活動(学習講座、文化講演、公民館活動など)	1 重要である	52	11.7%
	2 比較的重要である	118	26.6%
	3 どちらでもない	145	32.7%
	4 あまり重要でない	19	4.3%
	5 重要でない	14	3.2%
	6 わからない	62	14.0%
	無回答	34	7.7%
(3) 小中一貫教育による小中学校の教育	1 重要である	103	23.2%
	2 比較的重要である	117	26.4%
	3 どちらでもない	112	25.2%
	4 あまり重要でない	4	0.9%
	5 重要でない	8	1.8%
	6 わからない	69	15.5%
	無回答	31	7.0%
(4) 人権教育の推進(意識啓発、学習機会など)	1 重要である	61	13.7%
	2 比較的重要である	104	23.4%
	3 どちらでもない	144	32.4%
	4 あまり重要でない	11	2.5%
	5 重要でない	7	1.6%
	6 わからない	85	19.1%
	無回答	32	7.2%
(5) スポーツ活動の推進(団体、スポーツへの助成、大会の開催など)	1 重要である	69	15.5%
	2 比較的重要である	105	23.6%
	3 どちらでもない	141	31.8%
	4 あまり重要でない	9	2.0%
	5 重要でない	14	3.2%
	6 わからない	74	16.7%
	無回答	32	7.2%

6 少子化対策・結婚支援について

① 満足度

- 少子化対策・結婚支援についての満足度について、「満足している」と「比較的重要している」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(3) 子育て支援(保育料軽減、育児・児童手当など)」で31.3%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(1) 出会い・結婚支援(出会いイベントの開催など)」で25.0%と最も高くなっています。

図表 少子化対策・結婚支援についての満足度



		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 出会い・結婚支援(出会いイベントの開催など)	1 満足している	3	0.7%
	2 比較的満足している	7	1.6%
	3 どちらでもない	99	22.3%
	4 やや不満である	55	12.4%
	5 不満である	56	12.6%
	6 わからない	199	44.8%
	無回答	25	5.6%
(2) 出産支援(不妊治療費助成など)	1 満足している	15	3.4%
	2 比較的満足している	44	9.9%
	3 どちらでもない	99	22.3%
	4 やや不満である	24	5.4%
	5 不満である	20	4.5%
	6 わからない	223	50.2%
	無回答	19	4.3%
(3) 子育て支援(保育料軽減、育児・児童手当など)	1 満足している	47	10.6%
	2 比較的満足している	92	20.7%
	3 どちらでもない	101	22.7%
	4 やや不満である	24	5.4%
	5 不満である	14	3.2%
	6 わからない	146	32.9%
	無回答	20	4.5%
(4) 教育支援(通学費補助、学習教室、奨学金など)	1 満足している	43	9.7%
	2 比較的満足している	71	16.0%
	3 どちらでもない	107	24.1%
	4 やや不満である	22	5.0%
	5 不満である	14	3.2%
	6 わからない	164	36.9%
	無回答	23	5.2%
(5) 高等学校・高等教育支援(資格取得支援、奨学金貸付)	1 満足している	32	7.2%
	2 比較的満足している	63	14.2%
	3 どちらでもない	113	25.5%
	4 やや不満である	22	5.0%
	5 不満である	17	3.8%
	6 わからない	175	39.4%
	無回答	22	5.0%

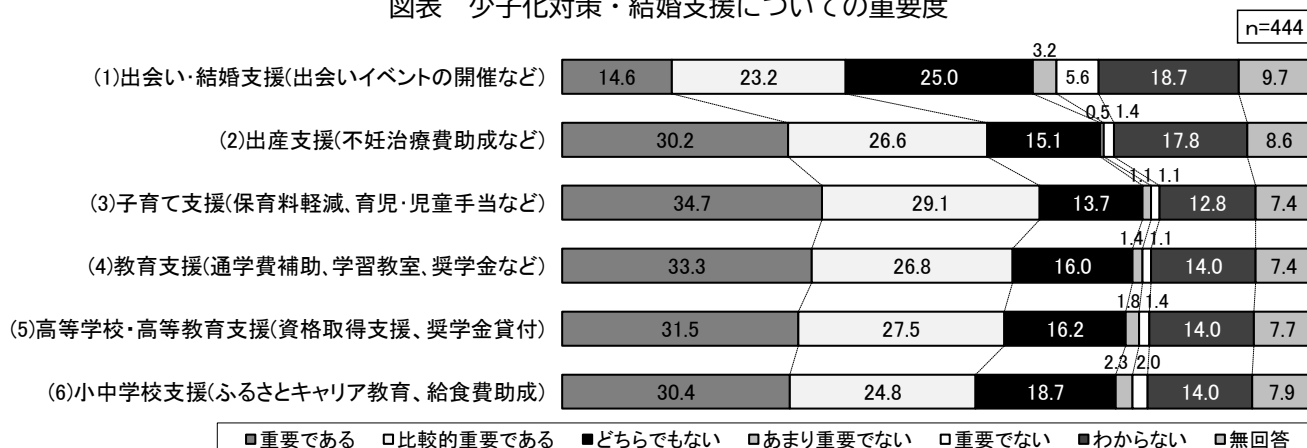
		回答数	構成比
(6) 小中学校支援(ふるさとキャリア教育、給食費助成)	1 満足している	40	9.0%
	2 比較的満足している	64	14.4%
	3 どちらでもない	113	25.5%
	4 やや不満である	19	4.3%
	5 不満である	16	3.6%
	6 わからない	170	38.3%
	無回答	22	5.0%

② 重要度

○ 少子化対策・結婚支援についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(3) 子育て支援(保育料軽減、育児・児童手当など)」で63.8%と最も高くなっています。

○ 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(1) 出会い・結婚支援(出会いイベントの開催など)」で8.8%となっています。

図表 少子化対策・結婚支援についての重要度



		回答数	構成比
(1) 出会い・結婚支援(出会いイベントの開催など)	1 重要である	65	14.6%
	2 比較的重要である	103	23.2%
	3 どちらでもない	111	25.0%
	4 あまり重要でない	14	3.2%
	5 重要でない	25	5.6%
	6 わからない	83	18.7%
	無回答	43	9.7%
(2) 出産支援(不妊治療費助成など)	1 重要である	134	30.2%
	2 比較的重要である	118	26.6%
	3 どちらでもない	67	15.1%
	4 あまり重要でない	2	0.5%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	79	17.8%
	無回答	38	8.6%

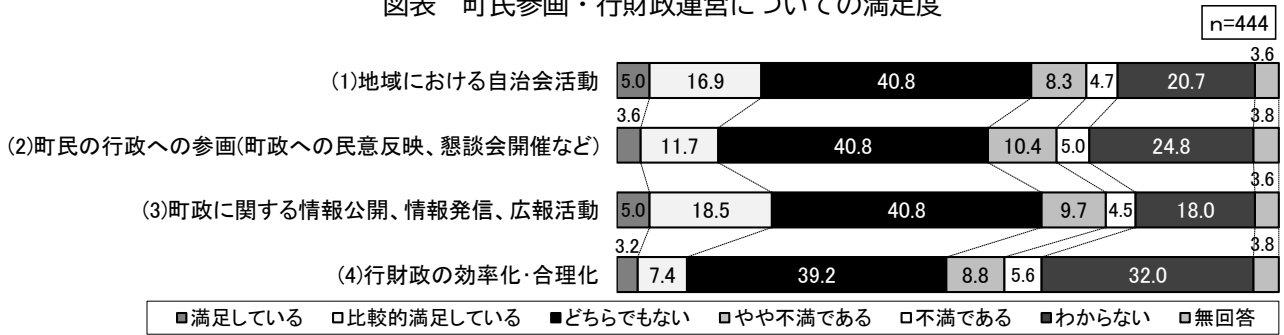
		回答数	構成比
(3) 子育て支援(保育料軽減、育児・児童手当など)	1 重要である	154	34.7%
	2 比較的重要である	129	29.1%
	3 どちらでもない	61	13.7%
	4 あまり重要でない	5	1.1%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	57	12.8%
	無回答	33	7.4%
(4) 教育支援(通学費補助、学習教室、奨学金など)	1 重要である	148	33.3%
	2 比較的重要である	119	26.8%
	3 どちらでもない	71	16.0%
	4 あまり重要でない	6	1.4%
	5 重要でない	5	1.1%
	6 わからない	62	14.0%
	無回答	33	7.4%
(5) 高等学校・高等教育支援(資格取得支援、奨学金貸付)	1 重要である	140	31.5%
	2 比較的重要である	122	27.5%
	3 どちらでもない	72	16.2%
	4 あまり重要でない	8	1.8%
	5 重要でない	6	1.4%
	6 わからない	62	14.0%
	無回答	34	7.7%
(6) 小中学校支援(ふるさとキャリア教育、給食費助成)	1 重要である	135	30.4%
	2 比較的重要である	110	24.8%
	3 どちらでもない	83	18.7%
	4 あまり重要でない	10	2.3%
	5 重要でない	9	2.0%
	6 わからない	62	14.0%
	無回答	35	7.9%

7 町民参画・行財政運営について

① 満足度

- 町民参画・行財政運営についての満足度について、「満足している」と「比較的重要である」を合わせた“満足”と回答された項目は、「(3) 町政に関する情報公開、情報発信、広報活動」で23.5%と最も高くなっています。
- 一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”と回答された項目は、「(2) 町民の行政への参画(町政への民意反映、懇談会開催など)」で15.4%と最も高くなっています。

図表 町民参画・行財政運営についての満足度



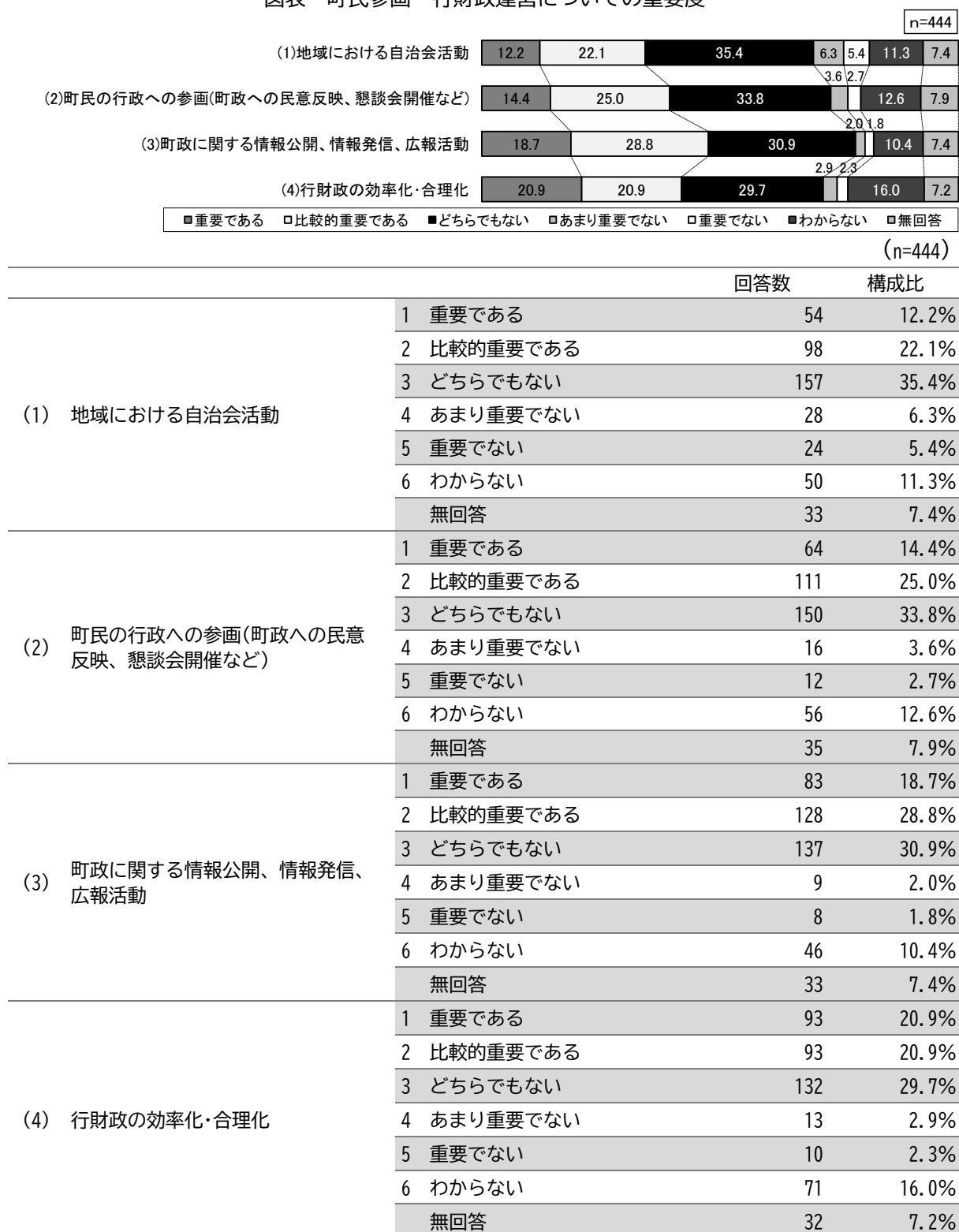
		(n=444)	
		回答数	構成比
(1) 地域における自治会活動	1 満足している	22	5.0%
	2 比較的満足している	75	16.9%
	3 どちらでもない	181	40.8%
	4 やや不満である	37	8.3%
	5 不満である	21	4.7%
	6 わからない	92	20.7%
	無回答	16	3.6%
(2) 町民の行政への参画(町政への民意反映、懇談会開催など)	1 満足している	16	3.6%
	2 比較的満足している	52	11.7%
	3 どちらでもない	181	40.8%
	4 やや不満である	46	10.4%
	5 不満である	22	5.0%
	6 わからない	110	24.8%
	無回答	17	3.8%
(3) 町政に関する情報公開、情報発信、広報活動	1 満足している	22	5.0%
	2 比較的満足している	82	18.5%
	3 どちらでもない	181	40.8%
	4 やや不満である	43	9.7%
	5 不満である	20	4.5%
	6 わからない	80	18.0%
	無回答	16	3.6%
(4) 行財政の効率化・合理化	1 満足している	14	3.2%
	2 比較的満足している	33	7.4%
	3 どちらでもない	174	39.2%
	4 やや不満である	39	8.8%
	5 不満である	25	5.6%
	6 わからない	142	32.0%
	無回答	17	3.8%

② 重要度

○ 町民参画・行財政運営についての重要度について、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた“重要”と回答された項目は、「(3) 町政に関する情報公開、情報発信、広報活動」で47.5%と最も高くなっています。

○ 一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”と回答された項目は、「(1) 地域における自治会活動」で11.7%となっています。

図表 町民参画・行財政運営についての重要度



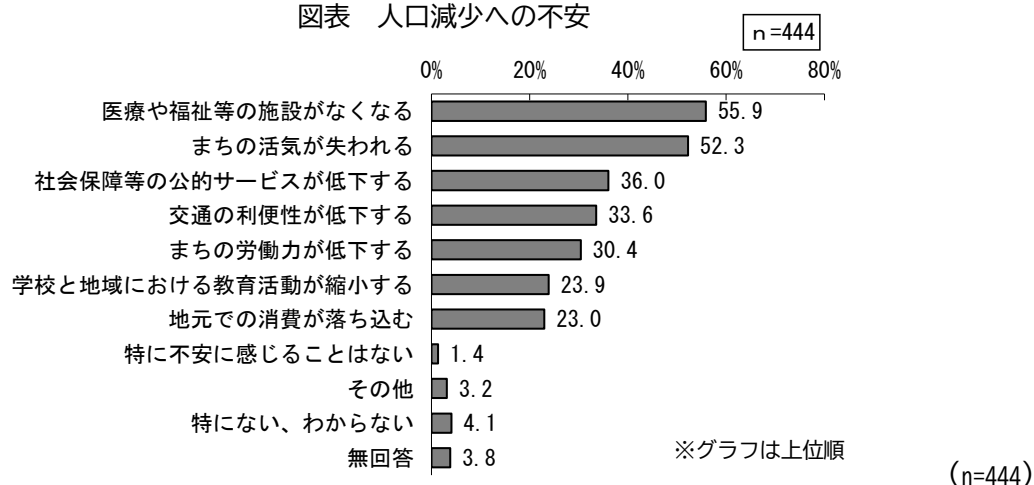
4 人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて

(1) 人口減少への不安

問 町の令和6年12月1日現在の住民基本台帳人口は4,438人ですが、国の研究機関における推計では、小坂町の人口は今後減少するとされています。あなたは人口が減少することにより、どのようなことに不安を感じますか。【3つまでに○】

○ 人口減少への不安について、「医療や福祉等の施設がなくなる」が55.9%と最も高くなっています。次いで「まちの活気が失われる」が52.3%、「社会保障等の公的サービスが低下する」が36.0%となっています。

図表 人口減少への不安



	回答数	構成比
1 まちの活気が失われる	232	52.3%
2 まちの労働力が低下する	135	30.4%
3 地元での消費が落ち込む	102	23.0%
4 社会保障等の公的サービスが低下する	160	36.0%
5 交通の利便性が低下する	149	33.6%
6 学校と地域における教育活動が縮小する	106	23.9%
7 医療や福祉等の施設がなくなる	248	55.9%
8 特に不安に感じることはない	6	1.4%
9 その他	14	3.2%
10 特にない、わからない	18	4.1%
無回答	17	3.8%

- 年齢別でみると、30歳代は「学校と地域における教育活動が縮小する」が51.8%と最も高くなっています。

図表 人口減少への不安（性別・年齢・地区別：上位3項目）

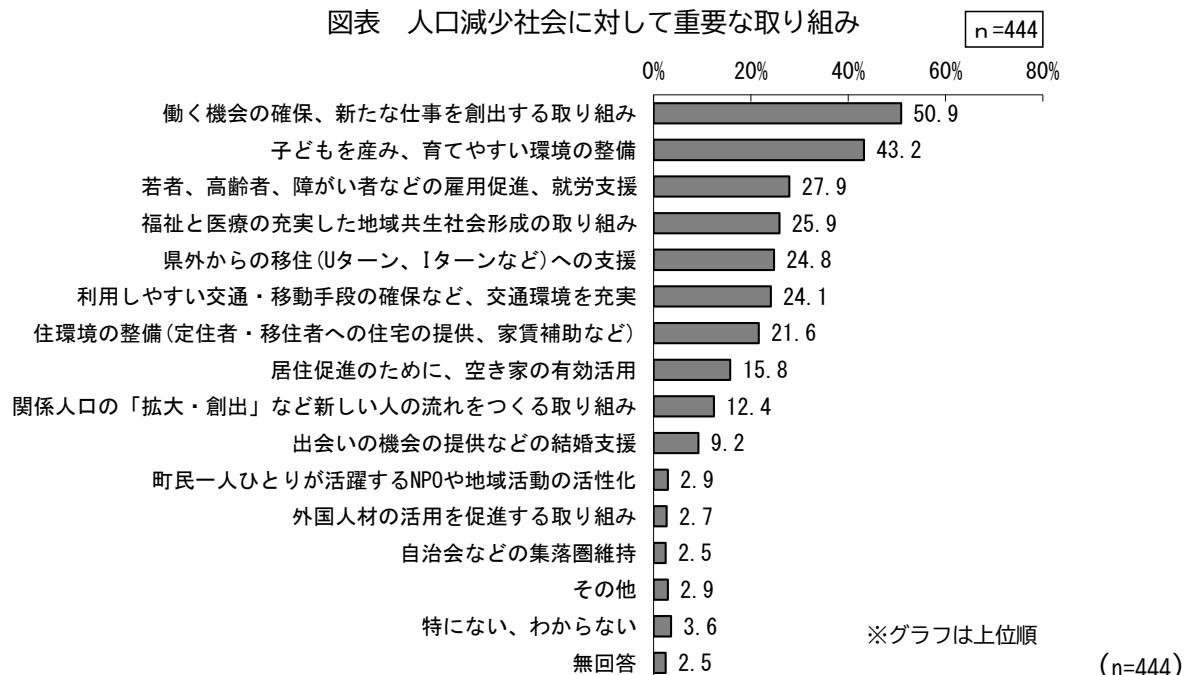
	第1位	第2位	第3位
男性(n=176)	まちの活気が失われる 60.8%	医療や福祉等の施設がなくなる 57.4%	社会保障等の公的サービスが低下する 36.9%
女性(n=255)	医療や福祉等の施設がなくなる 54.5%	まちの活気が失われる 47.1%	交通の利便性が低下する 36.9%
10・20歳代(n=55)	まちの活気が失われる 52.7%	学校と地域における教育活動が縮小する 36.4%	交通の利便性が低下する 34.5%
30歳代(n=56)	学校と地域における教育活動が縮小する 51.8%	医療や福祉等の施設がなくなる 48.2%	まちの活気が失われる 41.1%
40歳代(n=65)	医療や福祉等の施設がなくなる 58.5%	まちの活気が失われる 50.8%	社会保障等の公的サービスが低下する 41.5%
50歳代(n=58)	医療や福祉等の施設がなくなる 60.3%	まちの活気が失われる 48.3%	社会保障等の公的サービスが低下する 39.7%
60歳代(n=75)	医療や福祉等の施設がなくなる 62.7%	まちの活気が失われる 58.7%	社会保障等の公的サービスが低下する 41.3%
70歳以上(n=128)	医療や福祉等の施設がなくなる 61.7%	まちの活気が失われる 56.3%	社会保障等の公的サービスが低下する 38.3%
中央地区(n=299)	まちの活気が失われる 53.8%	医療や福祉等の施設がなくなる 52.5%	社会保障等の公的サービスが低下する 38.5%
川上地区(n=38)	医療や福祉等の施設がなくなる 63.2%	まちの活気が失われる・交通の利便性が低下する 42.1%（同率）	
七滝地区(n=64)	医療や福祉等の施設がなくなる 67.2%	まちの活気が失われる 59.4%	交通の利便性が低下する 40.6%
上向地区(n=15)	まちの活気が失われる 53.3%	交通の利便性が低下する・医療や福祉等の施設がなくなる 46.7%（同率）	
十和田湖地区(n=13)	医療や福祉等の施設がなくなる 61.5%	まちの活気が失われる 46.2%	まちの労働力が低下する 38.5%

(2) 人口減少社会に対して重要な取り組み

問 「人口減少社会における取り組み」として、特に重要なことは何だと考えますか。
【3つまでに○】

○ 人口減少社会に対して重要な取り組みについて、「働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み」が50.9%と最も高くなっています。次いで「子どもを産み、育てやすい環境の整備」が43.2%、「若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援」が27.9%となっています。

図表 人口減少社会に対して重要な取り組み



	回答数	構成比
1 働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み	226	50.9%
2 若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援	124	27.9%
3 子どもを産み、育てやすい環境の整備	192	43.2%
4 福祉と医療の充実した地域共生社会形成の取り組み	115	25.9%
5 住環境の整備(定住者・移住者への住宅の提供、家賃補助など)	96	21.6%
6 居住促進のために、空き家の有効活用	70	15.8%
7 県外からの移住(Uターン、Iターンなど)への支援	110	24.8%
8 利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実	107	24.1%
9 町民一人ひとりが活躍する NPO や地域活動の活性化	13	2.9%
10 出会いの機会の提供などの結婚支援	41	9.2%
11 関係人口の「拡大・創出」など新しい人の流れをつくる取り組み	55	12.4%
12 外国人材の活用を促進する取り組み	12	2.7%
13 自治会などの集落圏維持	11	2.5%
14 その他	13	2.9%
15 特にない、わからない	16	3.6%
無回答	11	2.5%

- 性別・年齢別でみると、10・20 歳代と 30 歳代は「子どもを産み、育てやすい環境の整備」が最も高くなっています。

図表 人口減少社会に対して重要な取り組み（性別・年齢・地区別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性(n=176)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 50.6%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 44.3%	若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援 34.1%
女性(n=255)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 52.2%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 41.2%	福祉と医療の充実した地域共生社会形成の取り組み 30.6%
10・20 歳代(n=55)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 41.8%	若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援 40.0%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 36.4%
30 歳代(n=56)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 58.9%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 50.0%	住環境の整備(定住者・移住者への住宅の提供、家賃補助など) 33.9%
40 歳代(n=65)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 49.2%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 44.6%	利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実 33.8%
50 歳代(n=58)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 60.3%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 36.2%	福祉と医療の充実した地域共生社会形成の取り組み 34.5%
60 歳代(n=75)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 56.0%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 38.7%	県外からの移住(Uターン、Iターンなど)への支援 29.3%
70 歳以上(n=128)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 53.1%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 42.2%	福祉と医療の充実した地域共生社会形成の取り組み 30.5%
中央地区(n=299)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 55.9%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 44.5%	若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援 29.8%
川上地区(n=38)	子どもを産み、育てやすい環境の整備・利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実 34.2% (同率)		働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 26.3%
七滝地区(n=64)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み・子どもを産み、育てやすい環境の整備 43.8% (同率)		利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実 28.1%
上向地区(n=15)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 60.0%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 53.3%	住環境の整備(定住者・移住者への住宅の提供、家賃補助など) 46.7%
十和田湖地区(n=13)	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み 53.8%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 46.2%	若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援 30.8%

(3) デジタル化に対して重要な取り組み

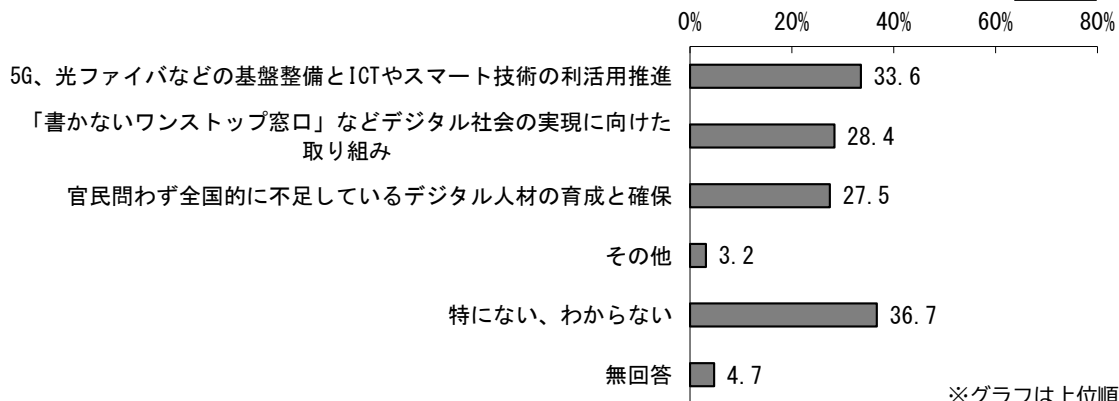
問 「デジタル化に向けた取り組み」として、特に重要なことは何だと考えますか。
【2つまでに○】

○ デジタル化に対して重要な取り組みについて、「5G、光ファイバなどの基盤整備とICTやスマート技術の利活用推進」が33.6%と最も高くなっています。次いで「書かないワンストップ窓口」などデジタル社会の実現に向けた取り組み」が28.4%、「官民問わず全国的に不足しているデジタル人材の育成と確保」が27.5%となっています。

○ また、「特にない、わからない」が36.7%となっています。

図表 デジタル化に対して重要な取り組み

n=444



※グラフは上位順

(n=444)

	回答数	構成比
1 5G、光ファイバなどの基盤整備と ICT やスマート技術の利活用推進	149	33.6%
2 官民問わず全国的に不足しているデジタル人材の育成と確保	122	27.5%
3 「書かないワンストップ窓口」などデジタル社会の実現に向けた取り組み	126	28.4%
4 その他	14	3.2%
5 特にない、わからない	163	36.7%
無回答	21	4.7%

- 性別でみると、「5G、光ファイバなどの基盤整備と ICT やスマート技術の利活用推進」と回答した男性は 43.8%、女性は 27.1%となっています。なお、「特にない、わからない」と回答した男性は 27.8%、女性は 44.3%となっています。

図表 デジタル化に対して重要な取り組み（性別・年齢別・地区別）

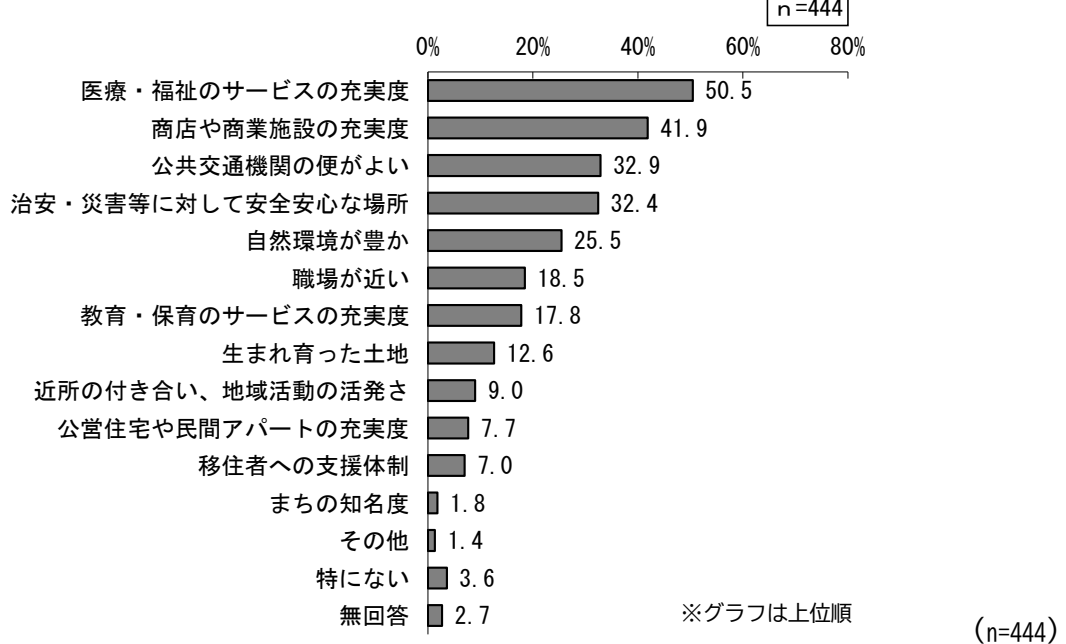
	5G、光ファイバなどの基盤整備と ICT やスマート技術の利活用推進	官民問わず全国的に不足しているデジタル人材の育成と確保	「書かないワンストップ窓口」などデジタル社会の実現に向けた取り組み	その他	特にない、わからない	無回答
男性(n=176)	43.8%	31.3%	30.7%	2.3%	27.8%	3.4%
女性(n=255)	27.1%	23.9%	25.9%	3.1%	44.3%	5.5%
10・20 歳代(n=55)	40.0%	23.6%	27.3%	3.6%	30.9%	0.0%
30 歳代(n=56)	51.8%	41.1%	30.4%	5.4%	17.9%	3.6%
40 歳代(n=65)	46.2%	29.2%	27.7%	1.5%	33.8%	3.1%
50 歳代(n=58)	32.8%	27.6%	36.2%	0.0%	36.2%	1.7%
60 歳代(n=75)	24.0%	21.3%	26.7%	5.3%	45.3%	5.3%
70 歳以上(n=128)	23.4%	25.0%	25.0%	2.3%	45.3%	9.4%
中央地区(n=299)	31.4%	27.8%	30.8%	4.0%	36.1%	4.3%
川上地区(n=38)	28.9%	15.8%	26.3%	0.0%	47.4%	5.3%
七滝地区(n=64)	39.1%	26.6%	21.9%	0.0%	40.6%	6.3%
上向地区(n=15)	60.0%	33.3%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%
十和田湖地区(n=13)	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	46.2%	7.7%

(4) 暮らすまちに重視する要素

問 あなたは、自身が暮らすまち（地域）を検討する際に、どのような点を重視しますか。
【3つまでに○】

○ 暮らすまちに重視する要素について、「医療・福祉のサービスの充実度」が50.5%と最も高くなっています。次いで「商店や商業施設の充実度」が41.9%、「公共交通機関の便がよい」が32.9%となっています。

図表 暮らすまちに重視する要素



	回答数	構成比
1 自然環境が豊か	113	25.5%
2 公共交通機関の便がよい	146	32.9%
3 職場に近い	82	18.5%
4 治安・災害等に対して安全安心な場所	144	32.4%
5 教育・保育のサービスの充実度	79	17.8%
6 医療・福祉のサービスの充実度	224	50.5%
7 公営住宅や民間アパートの充実度	34	7.7%
8 商店や商業施設の充実度	186	41.9%
9 移住者への支援体制	31	7.0%
10 近所の付き合い、地域活動の活発さ	40	9.0%
11 まちの知名度	8	1.8%
12 生まれ育った土地	56	12.6%
13 その他	6	1.4%
14 特にない	16	3.6%
無回答	12	2.7%

○ 年齢別でみると、30 歳代は「教育・保育のサービスの充実」が 42.9%と最も高くなっています。

図表 暮らしに重視する要素（性別・年齢・地区別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性(n=176)	医療・福祉のサービスの充実度 51.1%	商店や商業施設の充実度 40.3%	公共交通機関の便がよい 31.8%
女性(n=255)	医療・福祉のサービスの充実度 51.4%	商店や商業施設の充実度 42.4%	治安・災害等に対して安全安心な場所 35.7%
10・20 歳代(n=55)	商店や商業施設の充実度 54.5%	公共交通機関の便がよい 38.2%	職場に近い 36.4%
30 歳代(n=56)	教育・保育のサービスの充実度 42.9%	商店や商業施設の充実度 39.3%	自然環境が豊か・治安・災害等に対して安全安心な場所 35.7%（同率）
40 歳代(n=65)	医療・福祉のサービスの充実度・商店や商業施設の充実度 52.3%（同率）		公共交通機関の便がよい 27.7%
50 歳代(n=58)	医療・福祉のサービスの充実度 58.6%	商店や商業施設の充実度 48.3%	治安・災害等に対して安全安心な場所 36.2%
60 歳代(n=75)	医療・福祉のサービスの充実度 56.0%	公共交通機関の便がよい 38.7%	商店や商業施設の充実度 37.3%
70 歳以上(n=128)	医療・福祉のサービスの充実度 63.3%	公共交通機関の便がよい 36.7%	治安・災害等に対して安全安心な場所 35.9%
中央地区(n=299)	医療・福祉のサービスの充実度 54.2%	商店や商業施設の充実度 44.1%	公共交通機関の便がよい 32.4%
川上地区(n=38)	医療・福祉のサービスの充実度 44.7%	治安・災害等に対して安全安心な場所 36.8%	自然環境が豊か 31.6%
七滝地区(n=64)	医療・福祉のサービスの充実度 45.3%	公共交通機関の便がよい 43.8%	商店や商業施設の充実度 42.2%
上向地区(n=15)	自然環境が豊か 53.3%	治安・災害等に対して安全安心な場所・医療・福祉のサービスの充実度 46.7%（同率）	
十和田湖地区(n=13)	自然環境が豊か 61.5%	医療・福祉のサービスの充実度・生まれ育った土地 30.8%（同率）	

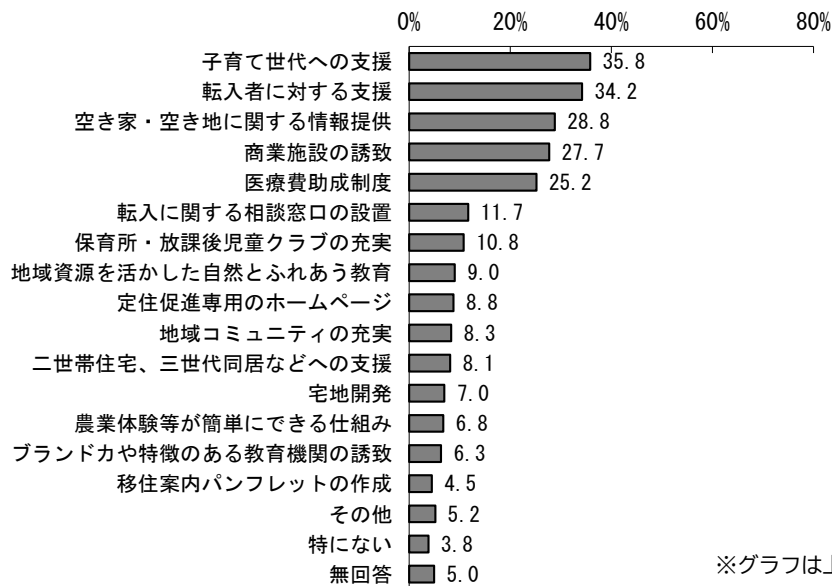
(5) Uターン等を促進する支援

問 Uターン、移住・定住の促進にあたり、小坂町が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。【3つまでに○】

○ Uターン等を促進する支援について、「子育て世代への支援」が35.8%と最も高くなっています。次いで「転入者に対する支援」が34.2%、「空き家・空き地に関する情報提供」が28.8%となっています。

図表 Uターン等を促進する支援

n=444



	回答数	構成比
1 転入者に対する支援	152	34.2%
2 子育て世代への支援	159	35.8%
3 二世帯住宅、三世帯同居などへの支援	36	8.1%
4 移住案内パンフレットの作成	20	4.5%
5 転入に関する相談窓口の設置	52	11.7%
6 定住促進専用のホームページ	39	8.8%
7 空き家・空き地に関する情報提供	128	28.8%
8 宅地開発	31	7.0%
9 商業施設の誘致	123	27.7%
10 医療費助成制度	112	25.2%
11 保育所・放課後児童クラブの充実	48	10.8%
12 地域資源を活かした自然とふれあう教育	40	9.0%
13 ブランド力や特徴のある教育機関の誘致	28	6.3%
14 地域コミュニティの充実	37	8.3%
15 農業体験等が簡単にできる仕組み	30	6.8%
16 その他	23	5.2%
17 特にない	17	3.8%
無回答	22	5.0%

○ 年齢別でみると、60 歳代・70 歳以上は「転入者に対する支援」が最も高くなっています。

図表 Uターン等を促進する支援（性別・年齢・地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性(n=176)	子育て世代への支援 39.2%	転入者に対する支援 35.2%	空き家・空き地に関する情報提供 32.4%
女性(n=255)	転入者に対する支援 34.5%	子育て世代への支援 33.7%	商業施設の誘致 26.3%
10・20 歳代(n=55)	子育て世代への支援・商業施設の誘致 40.0%（同率）		転入者に対する支援 36.4%
30 歳代(n=56)	子育て世代への支援 53.6%	転入者に対する支援・商業施設の誘致 30.4%（同率）	
40 歳代(n=65)	子育て世代への支援 43.1%	空き家・空き地に関する情報提供 36.9%	商業施設の誘致 33.8%
50 歳代(n=58)	空き家・空き地に関する情報提供 29.3%	子育て世代への支援・商業施設の誘致 27.6%（同率）	
60 歳代(n=75)	転入者に対する支援 36.0%	空き家・空き地に関する情報提供 32.0%	子育て世代への支援 29.3%
70 歳以上(n=128)	転入者に対する支援 40.6%	子育て世代への支援 30.5%	医療費助成制度 28.9%
中央地区(n=299)	転入者に対する支援 34.8%	子育て世代への支援 34.1%	商業施設の誘致 30.8%
川上地区(n=38)	空き家・空き地に関する情報提供 34.2%	転入者に対する支援・医療費助成制度 28.9%（同率）	
七滝地区(n=64)	子育て世代への支援 45.3%	転入者に対する支援 35.9%	空き家・空き地に関する情報提供 28.1%
上向地区(n=15)	子育て世代への支援 53.3%	転入者に対する支援 40.0%	医療費助成制度・農業体験等が簡単にできる仕組み 26.7%（同率）
十和田湖地区(n=13)	子育て世代への支援 38.5%	転入者に対する支援・空き家・空き地に関する情報提供 30.8%（同率）	

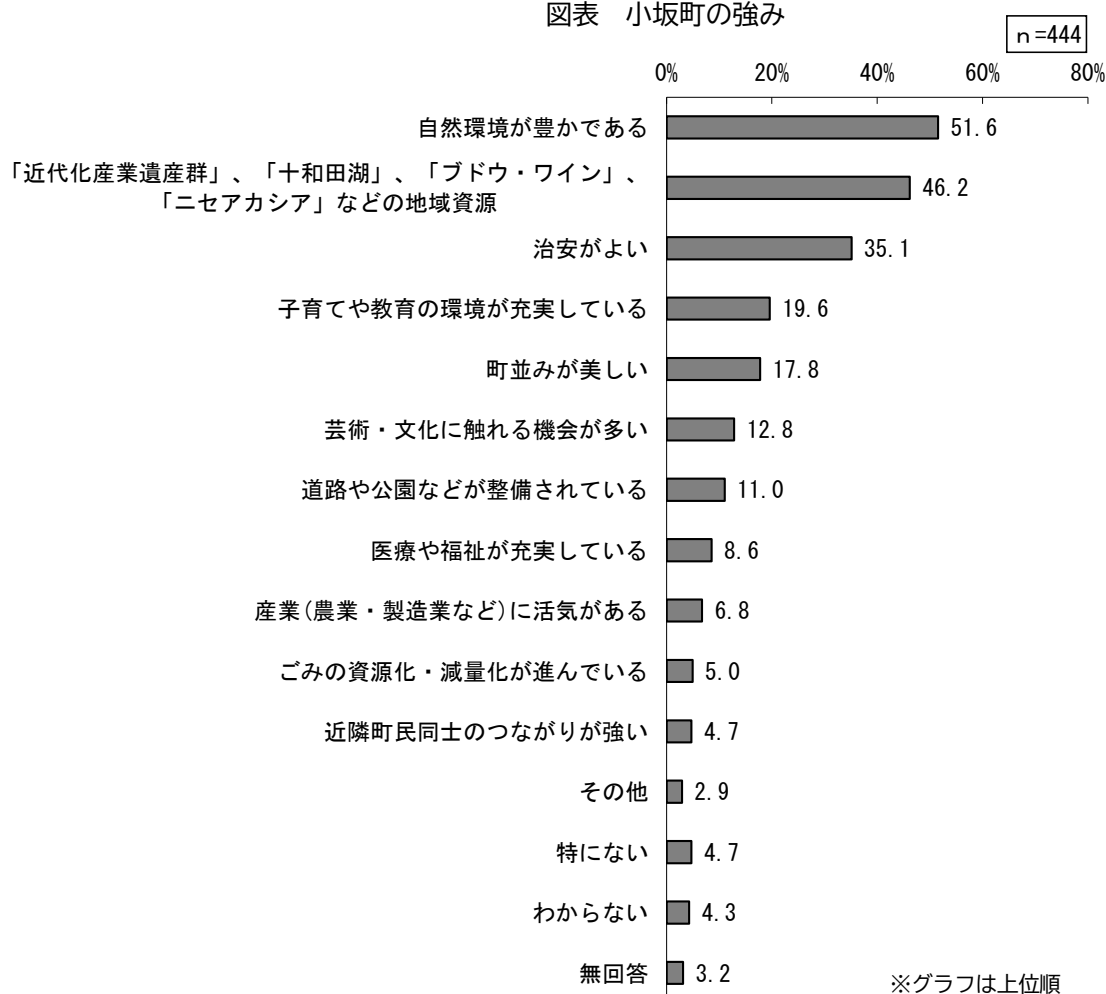
5 小坂町の地域特性・地域力、これからのまちづくりについて

(1) 小坂町の強み

問 次の中で、小坂町の強み（町の良さや特に自慢できるところ）は何だと思いますか。
【3つまで選択】

- 小坂町の強みについて、「自然環境が豊かである」が51.6%と最も高くなっています。次いで「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源」が46.2%、「治安がよい」が35.1%となっています。

図表 小坂町の強み



(n=444)		
	回答数	構成比
1 自然環境が豊かである	229	51.6%
2 町並みが美しい	79	17.8%
3 道路や公園などが整備されている	49	11.0%
4 ごみの資源化・減量化が進んでいる	22	5.0%
5 子育てや教育の環境が充実している	87	19.6%
6 医療や福祉が充実している	38	8.6%
7 産業(農業・製造業など)に活気がある	30	6.8%
8 芸術・文化に触れる機会が多い	57	12.8%
9 「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源	205	46.2%
10 近隣町民同士のつながりが強い	21	4.7%
11 治安がよい	156	35.1%
12 その他	13	2.9%
13 特にない	21	4.7%
14 わからない	19	4.3%
無回答	14	3.2%

○ 年齢別でみると、60 歳代・70 歳以上は「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源」が最も高くなっています。

図表 小坂町の強み(性別・年齢・地区別：上位3項目)

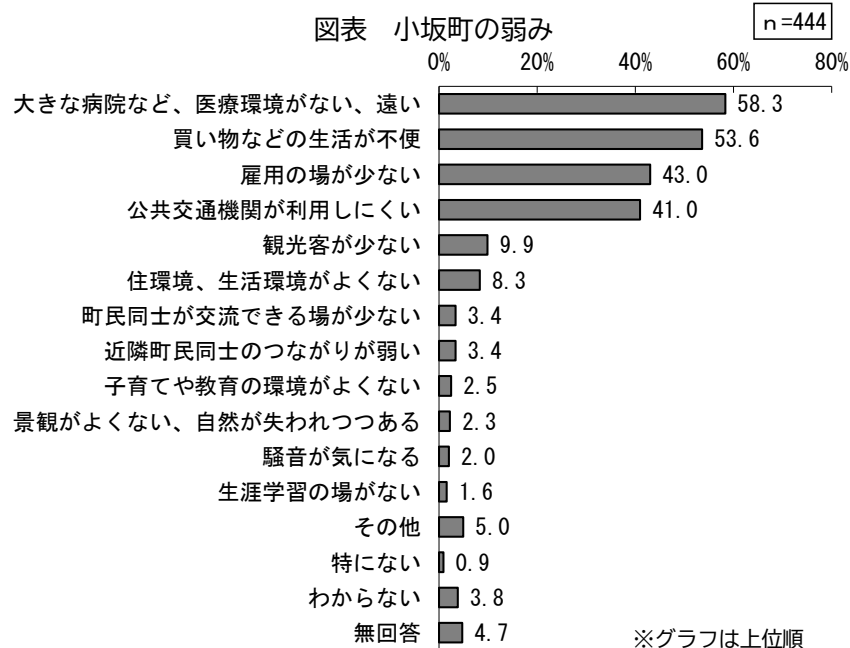
	第1位	第2位	第3位
男性(n=176)	自然環境が豊かである 51.7%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 48.9%	治安がよい 35.2%
女性(n=255)	自然環境が豊かである 52.2%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 45.9%	治安がよい 35.3%
10・20 歳代(n=55)	自然環境が豊かである 67.3%	治安がよい 40.0%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 32.7%
30 歳代(n=56)	自然環境が豊かである 57.1%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 48.2%	町並みが美しい・子育てや教育の環境が充実している 28.6% (同率)

	第1位	第2位	第3位
40歳代(n=65)	自然環境が豊かである 52.3%	治安がよい 40.0%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 33.8%
50歳代(n=58)	自然環境が豊かである 50.0%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 48.3%	治安がよい 31.0%
60歳代(n=75)	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 56.0%	自然環境が豊かである 42.7%	治安がよい 34.7%
70歳以上(n=128)	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 51.6%	自然環境が豊かである 49.2%	治安がよい 36.7%
中央地区(n=299)	自然環境が豊かである 51.2%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 48.2%	治安がよい 33.4%
川上地区(n=38)	自然環境が豊かである 44.7%	治安がよい 39.5%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 31.6%
七滝地区(n=64)	自然環境が豊かである・「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 48.4% (同率)		治安がよい 42.2%
上向地区(n=15)	自然環境が豊かである 66.7%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源 46.7%	治安がよい 33.3%
十和田湖地区(n=13)	自然環境が豊かである 76.9%	「近代化産業遺産群」、「十和田湖」、「ブドウ・ワイン」、「ニセアカシア」などの地域資源・治安がよい 38.5% (同率)	

(2) 小坂町の弱み

問 次の中で、小坂町の弱みは何だと思いますか。【3つまで選択】

○ 小坂町の弱みについて、「大きな病院など、医療環境がない、遠い」が58.3%と最も高くなっています。次いで「買い物などの生活が不便」が53.6%、「雇用の場が少ない」が43.0%となっています。



(n=444)		
	回答数	構成比
1 住環境、生活環境がよくない	37	8.3%
2 買い物などの生活が不便	238	53.6%
3 景観がよくない、自然が失われつつある	10	2.3%
4 騒音が気になる	9	2.0%
5 公共交通機関が利用しにくい	182	41.0%
6 観光客が少ない	44	9.9%
7 雇用の場が少ない	191	43.0%
8 大きな病院など、医療環境がない、遠い	259	58.3%
9 町民同士が交流できる場が少ない	15	3.4%
10 近隣町民同士のつながりが弱い	15	3.4%
11 子育てや教育の環境がよくない	11	2.5%
12 生涯学習の場がない	7	1.6%
13 その他	22	5.0%
14 特にない	4	0.9%
15 わからない	17	3.8%
無回答	21	4.7%

○ 年齢別でみると、10・20 歳代は「買い物などの生活が不便」が 63.6%と最も高くなっています。

図表 小坂町の弱み（性別・年齢・地区別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性(n=176)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 54.5%	買い物などの生活が不便 54.0%	公共交通機関が利用しにくい 39.8%
女性(n=255)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 60.4%	買い物などの生活が不便 53.3%	雇用が少ない 47.8%
10・20 歳代(n=55)	買い物などの生活が不便 63.6%	大きな病院など、医療環境がない、遠い 40.0%	公共交通機関が利用しにくい 36.4%
30 歳代(n=56)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 60.7%	買い物などの生活が不便 53.6%	公共交通機関が利用しにくい 44.6%
40 歳代(n=65)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 64.6%	買い物などの生活が不便 52.3%	雇用が少ない 50.8%
50 歳代(n=58)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 58.6%	雇用が少ない 56.9%	買い物などの生活が不便 44.8%
60 歳代(n=75)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 60.0%	雇用が少ない 52.0%	買い物などの生活が不便 48.0%
70 歳以上(n=128)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 60.9%	買い物などの生活が不便 57.0%	公共交通機関が利用しにくい 43.0%
中央地区(n=299)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 59.2%	買い物などの生活が不便 49.8%	雇用が少ない 48.2%
川上地区(n=38)	買い物などの生活が不便 65.8%	大きな病院など、医療環境がない、遠い 52.6%	公共交通機関が利用しにくい 34.2%
七滝地区(n=64)	買い物などの生活が不便 64.1%	大きな病院など、医療環境がない、遠い 57.8%	公共交通機関が利用しにくい 46.9%
上向地区(n=15)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 60.0%	買い物などの生活が不便 46.7%	公共交通機関が利用しにくい・雇用が少ない 40.0%（同率）
十和田湖地区(n=13)	大きな病院など、医療環境がない、遠い 61.5%	買い物などの生活が不便 46.2%	公共交通機関が利用しにくい 38.5%

6 将来の働き方について

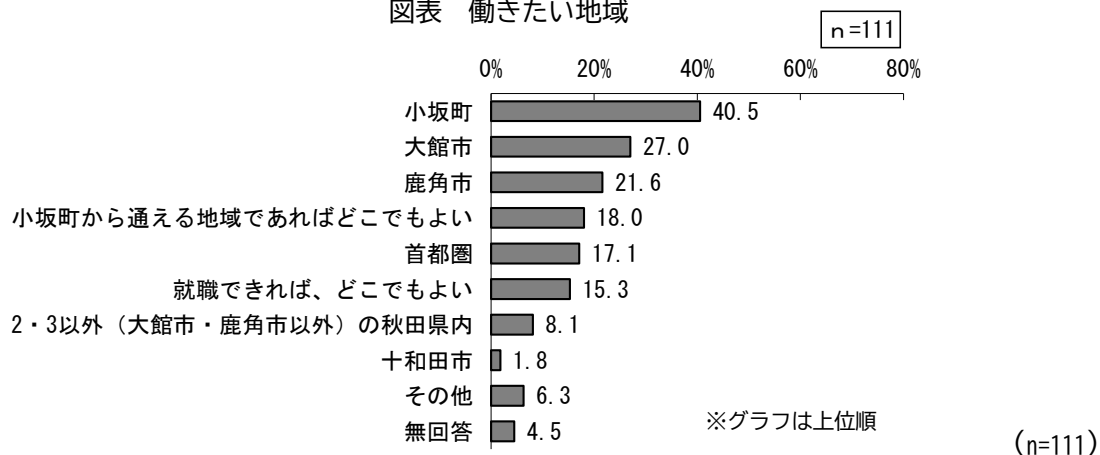
このセクションでは 40 歳未満の方のみが回答しています。

(1) 働きたい地域

問 現在、または今後働きたい「地域」はどこですか。【 3 つまでに○ 】

○ 働きたい地域について、「小坂町」が 40.5%と最も高くなっています。次いで「大館市」が 27.0%、「鹿角市」が 21.6%となっています。

図表 働きたい地域

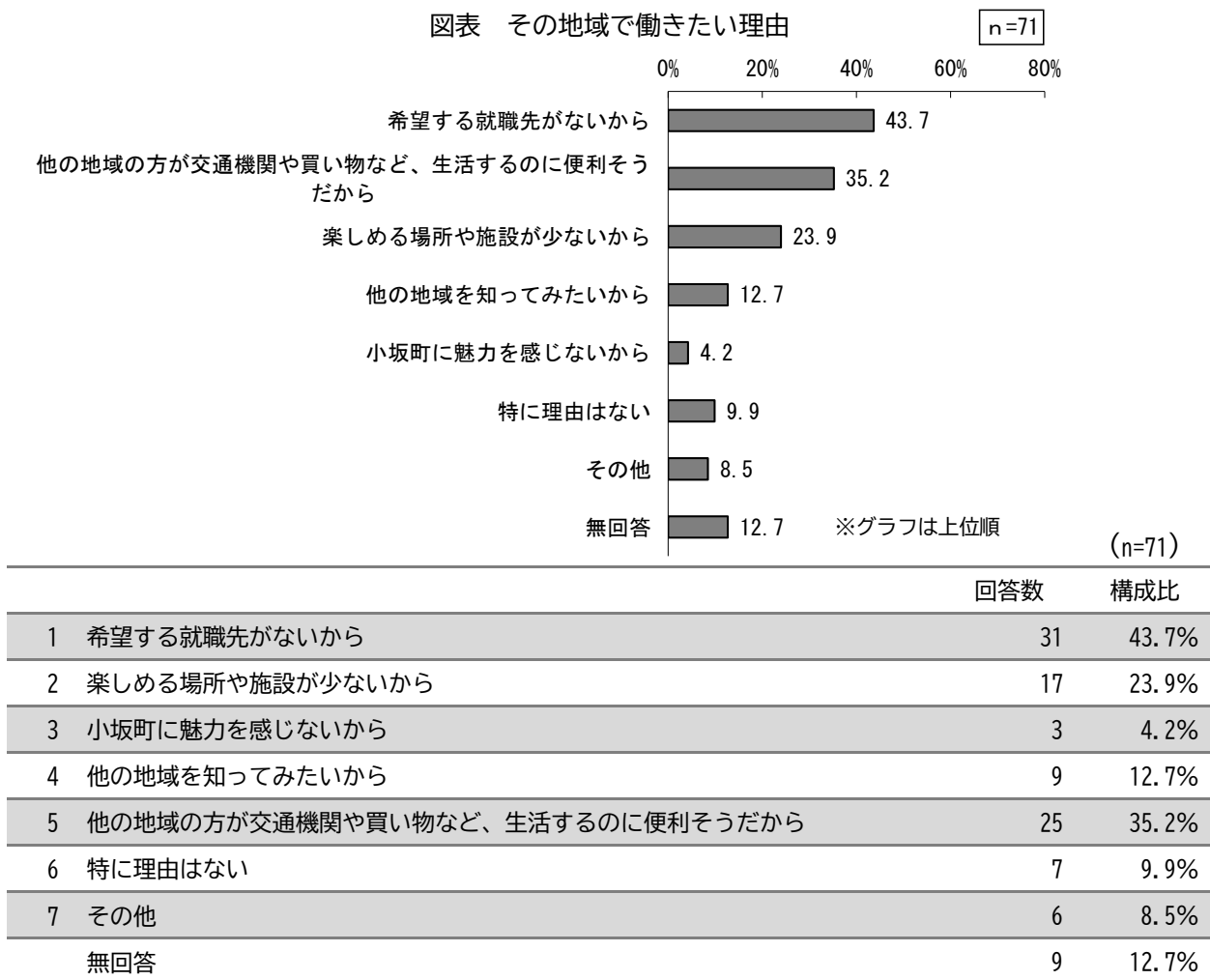


	回答数	構成比
1 小坂町	45	40.5%
2 大館市	30	27.0%
3 鹿角市	24	21.6%
4 2・3以外の秋田県内	9	8.1%
5 十和田市	2	1.8%
6 首都圏	19	17.1%
7 小坂町から通える地域であればどこでもよい	20	18.0%
8 就職できれば、どこでもよい	17	15.3%
9 その他	7	6.3%
無回答	5	4.5%

(2) その地域で働きたい理由

問 (1) で、「1. 小坂町」以外の地域を選んだ方（選択肢 2～7）にうかがいます。その理由を次の中から選んでください。【 3 つまでに○ 】

○ その地域で働きたい理由について、「希望する就職先がないから」が 43.7% と最も高くなっています。次いで「他の地域の方が交通機関や買い物など、生活するのに便利そうだから」が 35.2%、「楽しめる場所や施設が少ないから」が 23.9% となっています。

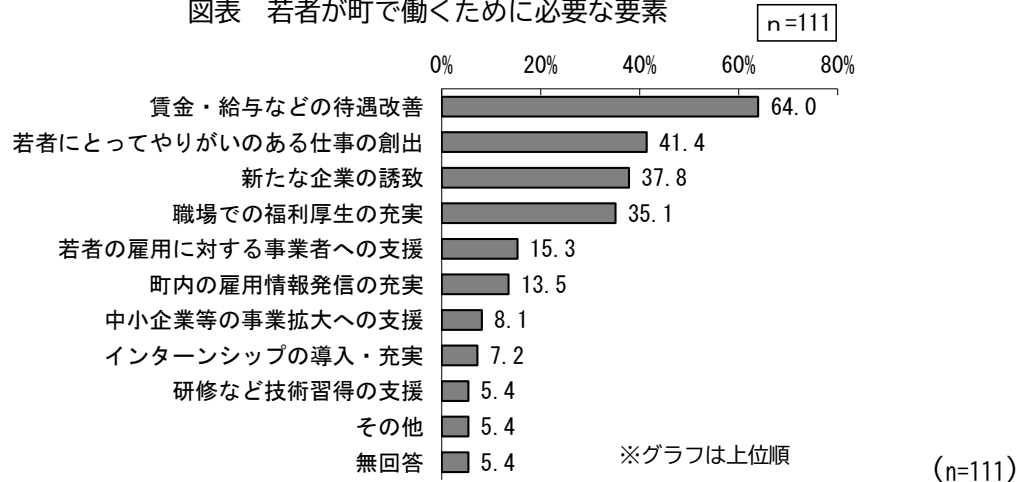


(3) 若者が町で働くために必要な要素

問 あなたは、若者が小坂町で働くために必要なものは何だと思いますか。【3つまでに○】

- 若者が町で働くために必要な要素について、「賃金・給与などの待遇改善」が64.0%と最も高くなっています。次いで「若者にとってやりがいのある仕事の創出」が41.4%、「新たな企業の誘致」が37.8%となっています。

図表 若者が町で働くために必要な要素



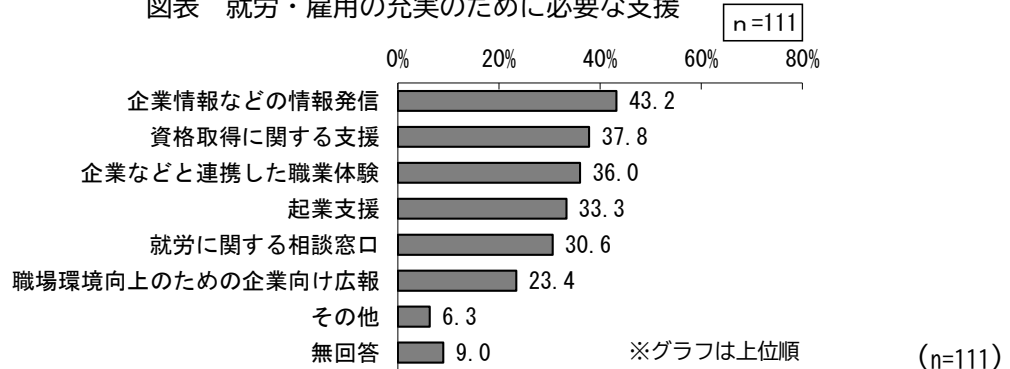
	回答数	構成比
1 若者にとってやりがいのある仕事の創出	46	41.4%
2 研修など技術習得の支援	6	5.4%
3 若者の雇用に対する事業者への支援	17	15.3%
4 中小企業等の事業拡大への支援	9	8.1%
5 インターンシップの導入・充実	8	7.2%
6 新たな企業の誘致	42	37.8%
7 町内の雇用情報発信の充実	15	13.5%
8 賃金・給与などの待遇改善	71	64.0%
9 職場での福利厚生 の 充実	39	35.1%
10 その他	6	5.4%
無回答	6	5.4%

(4) 就労・雇用の充実のために必要な支援

問 小坂町の就労・雇用の充実を図るために、町が行う必要があると感じる支援はどのようなことですか。【3つまでに○】

○ 就労・雇用の充実のために必要な支援について、「企業情報などの情報発信」が43.2%と最も高くなっています。次いで「資格取得に関する支援」が37.8%、「企業などと連携した職業体験」が36.0%となっています。

図表 就労・雇用の充実のために必要な支援



	回答数	構成比
1 企業情報などの情報発信	48	43.2%
2 企業などと連携した職業体験	40	36.0%
3 資格取得に関する支援	42	37.8%
4 就労に関する相談窓口	34	30.6%
5 起業支援	37	33.3%
6 職場環境向上のための企業向け広報	26	23.4%
7 その他	7	6.3%
無回答	10	9.0%